

進路のしおり

2015年11月

大阪市立住吉中学校

目 次

1. 進路を決めるってどういうこと？ · · · · ·	P. 2
2. どうやって進路を考えたらいいの？ · · · · ·	P. 2
3. 中学校卒業後の進路 · · · · ·	P. 3
4. 高等学校について · · · · ·	P. 4
5. 国立高等学校について · · · · ·	P. 8
6. 工業高等専門学校について · · · · ·	P. 8
7. 特別支援学校	
・ 視覚支援学校・聴覚支援学校について · · ·	P. 9
8. 専修学校、各種学校について · · · · ·	P. 9
9. 定時制・通信制・単位制高校進学について · ·	P. 10
10. 高等職業技術専門校について · · · · ·	P. 11
11. 就職について · · · · ·	P. 12
12. 学費について · · · · ·	P. 13
13. 奨学金制度について · · · · ·	P. 13
14. 11月からの進路の流れ · · · · ·	P. 14
15. 私立高校受験について · · · · ·	P. 15
16. 公立高校受験について · · · · ·	P. 18
日程 · · · · ·	P. 18
特別入学者選抜実施校 · · · · ·	P. 19
一般入学者選抜実施校 · · · · ·	P. 21
学力検査問題等について · · · · ·	P. 23
特別入学者選抜 · · · · ·	P. 25
知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜	P. 28
一般入学者選抜 · · · · ·	P. 29
17. 卒業生のおもな進学先 · · · · ·	P. 41

資料 1. 公立高校入学者選抜

学力検査の成績・調査書の評定にかかる倍率

国語・数学・英語の学力検査問題タイプ

資料 2. 私立高等学校等の授業料無償化制度について

1. 進路を決めるってどういうこと？

進路とは、大きく言えば、自分がこれから歩む道です。つまり、進路を決めるということは、これからの自分の生き方を考えていくということだと思います。

でも、「これから的人生なんて、決められるはずがない」と思うのも当然です。将来どうなっているかなんて誰にもわかるはずがありません。むしろ、子どもの時期にパイロットになりたいと思っていた人で、実際にパイロットになれなかつた人の方が多いというのが現実でしょう。それならば、何を考えればいいのでしょうか。

もちろん、将来なりたい職業があつて、その夢に向かってがんばっていく人もいるでしょう。それはその人の素晴らしい生き方です。では、将来なりたいこと、やりたいことが見つからない人は・・・？いつかそれが見つかるよう努力をしてください。とりあえず、今興味があることに全力でぶつかってみるのもひとつでしょう。違うことに興味を持ったら、またそれに全力でぶつかる。興味のあることが見あたらない人は、勉強でも、クラブでも、遊びでも、何かひとつでも継続して努力をしてみてください。中学で見つからなかつたら高校に行つて見つけてください。それでも見つからなかつたら大学で・・・。いつかは、いろいろな人や物に会つて自分の生き方が見えてくると思います。つまり、これからは自分で自分の生き方を決めていかなければならないのですが、中学3年生の進路決定は、その第一歩なのです。勉強はその生き方を見つける力を養つておきましょう。

ですから、何も考えず自分の進路決定を他人まかせにすることだけはやめて、何かひとつでも自分の進路について考えてみる機会にしましょう。そして、しっかりと勉強をして、より強く生きていく力を身につけてほしいと思います。

2. どうやって進路を考えたらいいの？

・自分をしっかりと見つめる

自分は何に適しているのか、自分は何に興味があるのか、自分は何がしたいのか、どれだけの学力があるのか等を見つめてください。おのずとどう進むべきかが見えてきます。

・進路についてよく知ろう

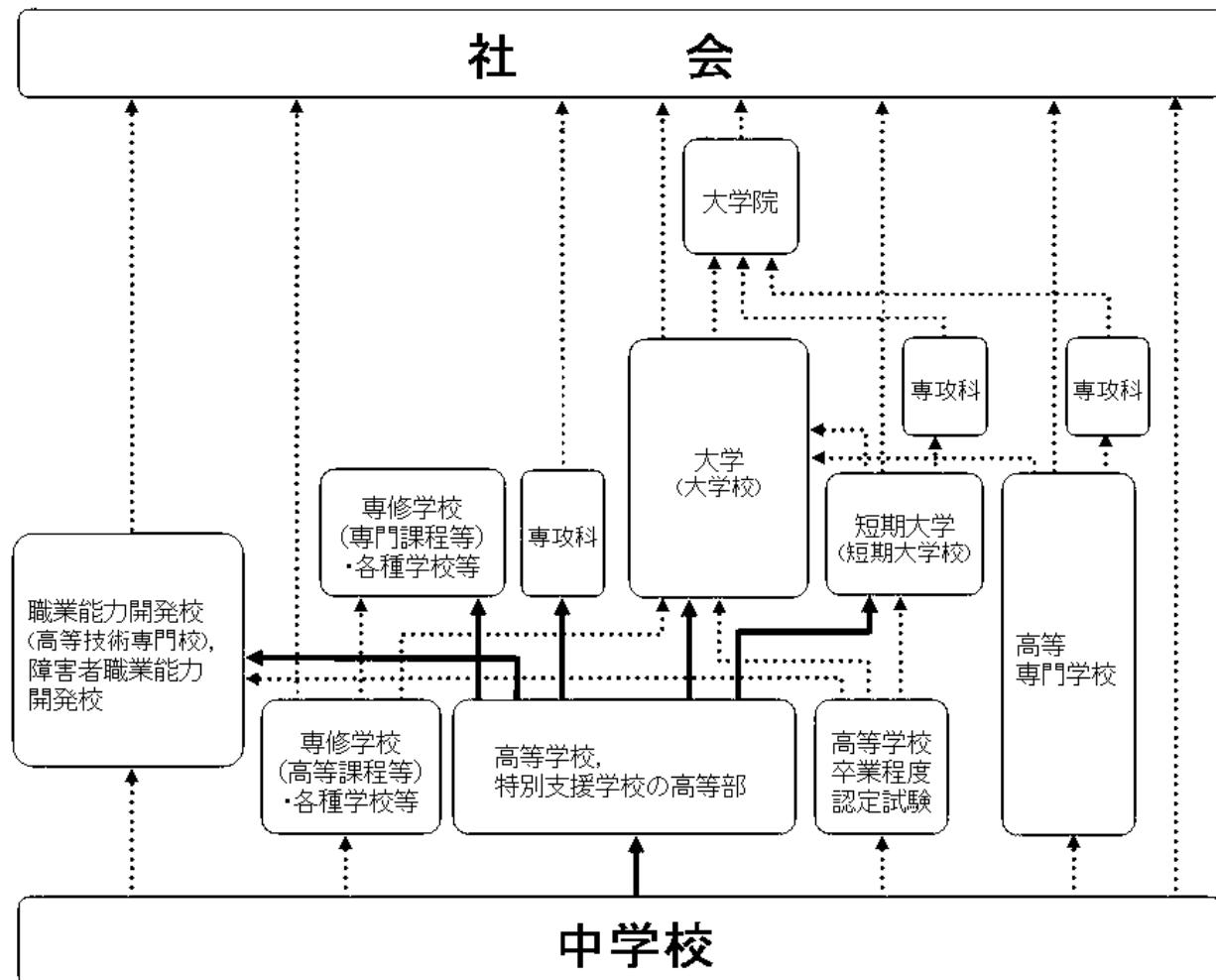
より幅広く考えていくためには、いろいろな情報を知ることです。学校からの情報や、周囲の人々の話をよく聞いて、研究してください。わからないことは、どんどん相談しましょう。

・十分に話し合って納得のいく決定をする

自分の進路といつても、周囲の協力なしでは決められません。家庭事情や本人の学力等について一番よくわかっている保護者や担任の先生と、よく話し合って決めることが必要です。

3. 中学校卒業後の進路

中学校までは、義務教育ですから小学校卒業後は、全員中学校に入学しました。しかし、中学校卒業後の進路は、次のように種々あります。



(1) 高等学校

- ・国立 (大阪教育大附属天王寺など)
- ・公立 (大阪府立、大阪市立など)
- ・私立 (学校法人などが経営する学校)

(2) 高等専門学校 (学科は工業・商船などがあり、全日制の5年)

- ・国立 (国立奈良工業高専、国立和歌山高専など)
- ・公立 (大阪府立大学工業高専など)
- ・私立 (近畿大学工業高専など)

(3) 専修学校高等課程 (3年) 私立

通信制の高等学校と連携し専修学校の卒業証書と同時に普通科の高等学校の卒業証書を得ることができる。

(4) 各種・専門学校 (数ヶ月、半年、1年、2年など) 私立

(5) 高等職業技術専門校 (6か月、1年、2年) 公立

*テクノセンターともいい、職業に必要な技術のみを習得する。

- (6) 就職
- ・中学校からハローワーク(職業安定所)を通して就職する
 - ・知人・親族などの紹介で就職する。
 - ・家業を継ぐ

4. 高等学校について

(1) 全日制、定時制、通信制、単位制について

- ・**全日制高校**

昼間に通学する学校で、普通科・専門学科・総合学科により構成されている。

- ・**定時制高校**

一般的に夜間に通学する学校（授業は午後5時半ごろから9時ごろまで）です。1日4時間授業で4年間通うのが一般的でしたが、通信制で単位を修得することで3年間で卒業できます。昼間働きながら高校へ通学したいという人が多いです。普通科と専門学科があります。

- ・**通信制高校**

基本的に自宅で学ぶ制度です。月ごとに教材が送られ、それを自分で学習し、添削指導を受けたり、レポートの提出をします。ただし、年間20日程度スクーリング（学校へ行って授業を受ける）があります。

大阪では …… 公立では桃谷高校、私立では向陽台高校・長尾谷高校などがあります。

- ・**単位制高校**

3年以上在籍し、高校卒業までに必要な74単位以上を修得することが卒業の条件です。つまり、自分で科目を選び自由に時間割を作っていきます。

ただし、一人ひとり時間割が違いますから、いつも友達がとなりにいるわけではありません。自分の意志をしっかりと持つことが求められます。

大阪公立では …… 全日制普通科単位制では市岡・鳳・楓の木・大阪府教育センター
クリエイティブスクール（全日制の課程では東住吉総合・和泉総合）（多部制単位
制Ⅰ部及びⅡ部では桃谷）
昼夜間単位制では市立中央

(2) 学科について

- ・**普通科**

基礎科目（国語、社会、数学、理科、英語、保健体育、芸術）を中心に学習します。
学校によっては、コースを選択して伸ばしたい科目を学習する場合もあります。
特に、私立ではいろいろなコースを設置している高校が多いです。

- ・**普通科総合選択制**

自分の興味・関心にあった学習を通じて、希望の進路を実現できる力を育みます。
普通科と比べると2年時以降、選択科目を選べる幅が大きくなります。

・**総合学科**

おもにコース別（福祉、情報教育、環境、国際理解など）にさまざまな系列があり、進路に応じて履修科目を選択できます。普通科目と専門科目の両方にわたって多くの選択科目（100～170科目）から自由に選択できます。

学 校 名		学 習 内 容
府 立	芦間高校	自然科学とテクノロジー、文化と社会、国際理解とコミュニケーション、造形とメディア表現、生活と健康
	今宮高校	理数、生命科学、文化・社会、国際理解、芸術・体育
	貝塚高校	人間と共生、生活と創造、自然と環境、情報と産業、文化と表現
	柴島高校	福祉、多文化理解、都市デザイン、エコロジー、ライフデザイン
	堺東高校	堺学、英語、理数、医療・看護、スポーツ・芸術
	能勢高校	国際・情報、食・花・交流、環境科学、人間・福祉
	枚岡樟風高校	食と生命を科学する、情報とメディアを活かす、工業デザインに親しむ、教養を高める
	松原高校	ヒューマンネットワーク、コミュニケーション、マルチメディア、スポーツ&カルチャー、エコロジー・サイエンス
	八尾北高校	国際コミュニケーション、福祉ネットワーク、情報テクノロジー、ライフクリエーション、人間科学
	千里星雲高校	教育、健康、科学、国際、文化
市 立	福井高校	国際コミュニケーション、福祉保育ヒューマニティ、健康スポーツ、情報メディア、芸術ライフ、総合サイエンス
	扇町総合高校	大阪文化、環境科学、国際観光、マーケティングデザイン、情報ネットワーク、会計ビジネス
	咲くやこの花高校	自然科学、ロボット工学、スポーツ、言語文化、造形芸術、映像表現

*デュアル総合学科…大阪府立布施北高校

・**エンパワメントスクール**

「エンパワメント」とは「力を引き出す」という意味です。あなたたちが持っている力を最大限に引き出す学校です。これからもっと勉強やクラブをがんばろうと思っている人、今の力をもっと伸ばしてやろうという意欲のある人を待っています。大学や専門学校、企業とも連携して「ほんものに触れる授業」を実施し、進路実現をはかる新しいタイプの学校です。「わかる喜び」や「学ぶ意欲」を引き出すために、企業などとも連携して、「ほんものに触れる授業」を実践し、進路実現をはかります。

平成27年度より西成高校・長吉高校・箕面東高校

平成28年度より成城高校・岬高校

・専門学科

基礎科目と専門科目を学習します。特に公立の場合、多くの学科があります。

学 科		学 習 内 容 (普通科目以外)
文 理 学 科		豊かな感性と幅広い教養を習得し、社会に貢献する志を持ち、グローバル社会をリードできる人材を育成します。
理 数 科・サイエンス創造科		理科や数学などの科学的な専門分野の学習を通して、理論性・創造性・柔軟性ある人間を育成します。
総合科学科		高度な科学、情報社会に求められる数理的思考の基礎となる力の育成をめざします。
国 語 科		国語を正しく理解することにより、優れた言語感覚と広い文化的視野を培い、国際社会で活躍できる能力と態度を習得します。
英 語 科		英語に関する総合的な学習を通して、国際社会で活躍できる能力と態度を習得します。
国際教養科		英語の学習を中心にして、国際感覚を見につけることがねらいで、授業全体の約3割が英語や外国事情、第2外国語にあてられます。また、帰国子女や留学生も受け入れ、異文化への相互理解を深めることを目的としています。
国際文化科		国際的な相互協力関係が進展する現在の社会と文化について学び、考える基礎となる力の育成をめざします。
音 楽 科		音楽に関する専門的な指導を行い、将来音楽の専門家として活躍するために必要な技量を身につけ、新しい音楽芸術の創造・発展に寄与する人材を育成します。
福祉ボランティア科		社会福祉・看護基礎医学・基礎介護・社会福祉援助技術 など
芸能文化科		伝統文化を理解した、表現力豊かな人材を育成します。
演 剧 科		演劇論、劇表現、歌唱表現、戯曲研究、舞踊など。
食物文化科		調理・栄養・衛生などに関する理論や実習を通して、調理師資格の習得をめざします。
グローバル科		豊かな語学力・コミュニケーション能力、論理的思考力や健全な批判力を身につけ、国際的に活躍できる「グローバル人材」を育成します。
商 業	商 業 科・流通経済科 グローバルビジネス科・マネジメント創造科	商業経済・商業法規・商業デザイン・簿記会計・計算事務・税務会計・コンピュータソフト など
工 業	機 械 科	実習や製図を中心に機械に関する科目を学習し、工作機械、機械工業及び関連する分野の知識と技術を習得します。
	機械電気科	機械・電気に関連した機器の自動化及び情報技術などの知識と技術を習得します。
	電子機械科	精密機械や電子に関する科目を学習し、精密機械・コンピュータ・ロボットなどの製造・設計・管理のための知識と技術を習得する。
	電 气 科	電気・電子の回路理論やモーター・テレビ・コンピュータなどの構造や取扱いを学習し、電気・電子工学の知識と技術を習得します。
	建 築 科	住宅・病院・事務所・学校などの建築物の計画・設計や施工・管理などの知識と技術を習得します。

	都市工学科	都市の計画・デザイン・環境や、道路・橋梁・鉄道・河川・港湾などの設計・施工に関する知識と技術を習得します。
	工業化学科	化学の基礎から分析技術までの応用力をもった科学技術者育成を目指します。
	ファッション工学科	ファッション産業におけるデザイン・織り・編み・縫製・創色・染色・色彩管理などのファッション分野に関する知識と技術を習得します。
	グラフィックデザイン科	グラフィック製品が完成するまでの編集デザインの行程を、コンピュータグラフィックの技術を用いて学習します。
	建築デザイン科	住宅・集合住宅・幼稚園・図書館など各種建築物やその環境などについて考え、デザインや建築に関する知識と技術を習得します。
	プロダクトデザイン科	自動車・バイク・テレビ・ラジカセ・電話機などの工業製品や身の回りの生活用具のデザインや製作に関する知識と技術を習得する。
	インテリアデザイン科	各種家具のデザインや店舗設計及びインテリアコーディネイトを実践的に学び、インテリアに関するデザインや製作の知識と技術を習得します。
	ビジュアルデザイン科	ポスター、新聞・雑誌の広告、書籍などのデザインから商品の企画にいたる幅広い分野について、感性を磨きつつ実践的にデザイン技法を習得します。
	映像デザイン科	写真、印刷、VTR、コンピューターグラフィックスなどについて学習し、豊かな美的感性を養いながら映像分野に関する知識と技術を習得します。
	セラミック科	ほうろう・ガラス・陶磁器・ニューセラミックなどの金属材料や高分子材料に関する知識と技術を習得する。
	情報科学科	コンピュータの利用技術について学習し、ロボットの制御実習などを通してハードウェアに関する知識と技術を学習します。
	理数工学科	化学系・物理系・情報系を中心に座学と実習を行います。
美術	美術科	日本画・洋画のコース別実習・造形 など
	総合造形科	美術・工芸・デザイン・造形教養領域 など
体育	体育科・武道科	選択実技・体育理論・衛生学 など
	人間スポーツ科学科	スポーツを科学的に分析・研究するための運動生理学・スポーツ栄養学・身体運動学などを総合的に学習します。
農業・園芸	ハイテク農芸科	野菜、果樹、草花の栽培を通じて、園芸全般に関する知識、技能を習得します。
	資源動物科	動物に関する知識、技能を幅広く身につけます。
	食品加工科	食品原材料の生産及び加工、流通、貯蔵、消費までの、食品に関する知識を学びます。
	環境緑化科	園芸・農業経営・園芸デザイン・造園・都市計画・総合実習など
	バイオサイエンス	微生物利用を中心に食品に関する知識や技術を学びます。
	フラワーファクトリー科	栽培技術、生産物の流通や花の装飾などを学習します。

※大阪府立工科高校は一括入学で、2年次進級時にコース別に分かれます。

・知的障がい生徒自立支援コース

療育手帳を所持している者又は児童相談所等の公的機関により知的障がいを有すると判定を受けた生徒を対象に、生徒自身が社会的自立を図ることができるよう、高等学校において一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行い、「ともに学び、ともに育つ」教育を育みます。

◎ カリキュラムによる違い

高等学校の学科の特色

全日制課程					クリエイティブスクール
普通科			総合学科	専門学科	(多部制単位制総合学科)
普通科	総合選択制	単位制			
共通履修科目 (70~80 単位程度)	共通履修科目 (60 単位程度)	共通履修科目 (40 単位程度)	共通履修科目 (40~50 単位程度)	共通履修科目 (40~55 単位程度)	共通履修科目 (40 単位程度)
	エリア指定科目 (8~12 単位)	自由選択科目 (50 単位程度)	総合選択科目	自由選択科目 (40~50 単位程度)	専門科目 (45~55 単位程度)
選択科目 (10~20 単位程度)	自由選択科目 (20~30 単位程度)				自由選択科目 (50 単位程度)

5. 国立高等学校について

国立高等学校で比較的近いのは、大阪教育大学付属高等学校天王寺・池田・平野があります。中学校からの内部進学がほとんどをしめ、外部からの募集人数はあまりありません。

大阪教育大学附属高等学校

	募集人数	入試日	合格発表
池田校舎	約 50 名(昨年度)	2月 10・11 日	2月 15 日
天王寺校舎	8 名程度	2月 10・11 日	2月 15 日
平野校舎	5 名程度 (適性検査)	2月 4 日	2月 6 日
	35 名程度 (学力試験)	2月 12 日	2月 15 日

6. 工業高等専門学校について

工業高等専門学校は、5年間に大学に準ずる専門教育をおこない、専門技術者（工業、商船）を養成する学校です。また、大学への編入学もできます。

高等専門学校は全国にあり、どこでも受検できます。国立高専で比較的近いのは明石工業高等専門学校、奈良工業高等専門学校、和歌山工業高等専門学校があります。

大阪では、寝屋川市に大阪府立大学工業高等専門学校があります。府立高専には、総合工学システム学科に5つのコースが設定されています。

大阪府立大学工業高等専門学校…寝屋川市幸町 26-12 (京阪 寝屋川より徒歩 15 分)

選抜方法は「小論文と面接による選抜」と「学力検査による選抜」があります。

・小論文と面接による選抜(40名)…小論文・面接・調査書により判定する

選抜実施日 1月 23 日 合格発表…1月 27 日

・学力検査による選抜(120名) … 5教科の学力検査・調査書により判定する

選抜実施日 2月 21 日 合格発表…2月 25 日

7. 特別支援学校・視覚支援学校・聴覚支援学校について

現在大阪府内の特別支援学校は、国立、府立、市立、衛星都市立の学校や分校が設置されています。

通学区域によって進学できる学校が決まっています。本校からは、市立東住吉特別支援学校です。学校見学および教育相談が行われていますので、中学校までお問い合わせください。

学 校 名	学 科 名	所 在 地 ・ 交 通 便	備 考
市立東住吉特別支援	知的障がい・肢体不自由教育	東住吉区矢田 5-1-22 〔近鉄南大阪線〕「矢田」下車、南東へ 徒歩5分	スクールバス運行

8. 専修学校、各種学校について

さまざまな技能や知識の修得、資格取得のために作られた学校が専修学校、各種学校です。専修学校法による一定の基準に達した学校が専修学校で、基準のない学校が各種学校です。専修学校には次の3つの種類があります。

- | | |
|---------------|--------------------------|
| ・高等課程（高等専修学校） | 中学卒業以上の課程（3年制が多い） |
| ・専門課程（専門学校） | 高等学校卒業以上の課程（2年制が多い） |
| ・一般課程（専修学校） | 学歴に関係ない（昼間部と夜間部があることが多い） |

上記のうち、中学卒業時に入学できるのは、高等専修学校と専修学校（一般課程）です。1～3年間通い、卒業すると、高等課程の場合は「高等学校卒業に準ずる扱い」となり、大学入試資格が得られる学校もあります。専門課程の場合は「短期大学卒業に準ずる扱い」となります。

高等専修学校には技能連携制度があり、専修学校における学習を高校の教科の一部とみなし、高等学校に準ずる扱いを受けることができます。例えば、学割制度や奨学金制度などの適用が受けられたり、大学の推薦入試が受けられます。また、通信制で高等学校の単位を修得し、高等学校卒業証書が授与されます。

おもな高等専修学校（技能連携校や大学入学資格のある学科）の種類

学 科	学 習 内 容
情報処理	コンピューターの情報処理技術を学ぶ
商業実務	経理、珠算、簿記、情報処理などを学ぶ
被服、家政	洋裁、被服製作技術、ファッショングデザインなどを学ぶ
国際、語学	語学を通じて国際理解を学ぶ
工業	自動車整備や電気テレビなどの学科がある
デザイン	グラフィックデザインやファッショングデザインを学ぶ

9. 定時制・通信制 高校進学について

働きながら学ぶ

社会人として働きながら勉学する人たちのための学校です。働くことと勉学することを両立させるわけですから、それに耐えうる体力と精神力が必要となります。しかし、それを有効に利用すれば、働きながら高校卒業の資格を得ることができます。社会の進歩に合わせて若いときに知識を身につけ、自分自身の向上をめざすことが大切です。

(1) 定時制高校

①学校・学科

全日制の高等学校と同じように普通科（三国丘、布施）や専門学科（第二工芸、都島第二工業）などがあり、卒業すれば全日制高校の卒業生と同じ資格が得られます。したがって大学受験も可能です。

②授業時間・修業年限

修業年限3年または4年間で毎日午後5時30分～9時ごろまで4時間の授業をしています。定時制と通信制（単位制）を併修している高校では、74単位以上を修得すれば、3年で卒業できます。

③教科・科目

定時制高校で学ぶ教科は、全日制と同じように、普通科では、国語、社会、数学、理科、保健体育、芸術、外国語と家庭などがあります。また、総合学科、工業に関する学科や商業科では、そのほかにそれぞれの専門科目を学習します。

④学校での生活

学校では、教科の授業のほか、高校生活を楽しく豊かにするため、ホームルームや校外宿泊学習をはじめクラブ活動、体育祭、文化祭、修学旅行などの行事を行っています。

これらの学校生活を通じて、生徒は先輩や友人たちと相談し、励ましあって充実した学校生活を送っています。

(2) 通信制高校

①あらまし

大阪府には、公立通信制高校として府立桃谷高校があり、設置学科は普通科です。

桃谷高校は、1992年から新しいタイプの学校として、通信制を主とした単位制高校になりました。単位制高校は、無学年制の学校で、学年制のように留年がなく、一度修得した教科・科目は再び履修する必要がありません。また、次のような特色をもたせて、勤務の都合で定時制高校に通学しにくい人に便利なようにしています。

- (1) 日曜日・夜間にスクーリング（面接指導）を行う日・夜間部のほか、昼間にスクーリングを行う昼間部があります。
- (2) 必履修科目を履修または習得の上、74単位以上を修得すれば、最低3年で卒業できます。
- (3) 他校で修得した教科・科目の単位は、一定の条件により卒業に必要な単位として認定します。
- (4) 自分の興味、関心に合わせて教科・科目を選択し、履修できます。
- (5) より専門的な学習を行うため、情報処理コース、外国語コース（英語、韓国・朝鮮語、中国語）、芸能文化コースを設置しています。

②学習方法

通信制の学習は、教科書・学習書をもとに自学自習し、レポートを作成して添削指導を受けるほか、必要時間数のスクーリングに出席します。

③スクーリング

日・夜間部：日曜日（ほぼ隔週）の9：30～16：00及び、月・金曜日の18：00～20：50にスクーリングがあります。

昼間部：毎週の月・水・金曜日の13：20～17：10にスクーリングがあります。

④学校での生活

学校では、教科・科目のほかに、高校生活を楽しく豊かにするため、校外宿泊学習をはじめ、運動・文科系のクラブ活動、体育祭、文化祭、修学旅行などを実施しています。

(3) 昼夜間単位制高校 (大阪市立中央高等学校)

- ・単位制・無学年制…従来の高等学校のように学年進行制ではありません。
単位の積み重ねによって、特別活動の他に、教科、科目で7~4以上の単位が認定されると卒業資格が与えられる学校です。
- ・週5日制…毎週月~金曜日に授業があります。
・講座制による授業…クラス全員が同じ教室で授業を受けるのではありません。
- ・科目選択制…大幅な科目選択制度の学校なので、大学や短大のように自分の興味・関心・進路などに合わせて科目を選択します。(ただし、新入生の選択は少なく、2年次生以上はすべて選択科目となります。)
- ・チューター制…チューター(担任)が原則として入学から卒業時まで、科目選択をはじめ学校生活全般にわたってお手伝いします。

10. 高等職業技術専門校について

職業に就くために必要な知識、技能を学ぶために設置されている職業訓練施設です。府下には、府立高等職業技術専門校5校と障がい者職業訓練校や障がい者特別委託訓練施設があります。その中で新規中学校卒業者を対象に募集のある、職業技術専門校は、東大阪高等職業技術専門校の溶接技術だけです。

名称	所在地	連絡先
阪府立北大阪高等職業技術専門校	〒573-0128 枚方市津田山手2-11-40	電話 072-808-2151 FAX 072-808-2152
大阪府立東大阪高等職業技術専門校	〒578-0984 東大阪市菱江6-9-10	電話 072-964-8836 FAX 072-964-8904
大阪府立南大阪高等職業技術専門校	〒594-1144 和泉市テクノステージ2-3-5	電話 0725-53-3005 FAX 0725-53-3015
大阪府立芦原高等職業技術専門校	〒556-0027 大阪市浪速区木津川2-3-15	電話 06-6561-5383 FAX 06-6561-5318
大阪府立夕陽丘高等職業技術専門校	〒543-0002 大阪市天王寺区上汐4-4-1	電話 06-6776-9900 FAX 06-6776-9930
大阪障害者職業能力開発校	〒590-0137 堺市南区城山台5-1-3	電話 072-296-8311 FAX 072-296-8313

11. 就職について

就職することは、人間にとって社会生活を営む上で、きわめて重大な意義をもっています。日本国憲法において、すべての国民に職業選択の自由を保障しているのも、このような趣旨に基づくものです。

人は、働くことにより社会との繋がりをもち、社会に貢献していきます。また、働くことにより収入を得ることはもちろんですが、社会的な責任も求められます。ですから毎日の学習に真剣に取り組み、基本的な生活習慣や基礎的な学力を、今のうちにしっかりと身につけておきましょう。

(1) 就職先の選択について

- ◆自分を知る。(興味・関心・生活など)
- ◆職業を知る。(仕事の内容、労働条件、事業所の所在地、将来性など)
- ◆自分で決める。(専門家の助言や家族・先生などの意見を参考にして)

(2) 就職の方法

① 学校を通して、公共職業安定所に依頼する場合

学校に、職業安定所を通しての就職を申し出れば、自動的に求職者になります。職業安定所は、事業所よりの求人申し込みを受け付け、学校にその内容を求人一覧表で知らせてくれます。

＜就職先決定までの流れ＞

11月	求人情報配布	12月上旬	希望職場決定
	職業適性検査	12月末～1月	事業所見学
	担任との相談		応募票提出
		2月	府下一斉選考
			合格発表

② 縁故就職（自己就職）の場合

知人や親戚の人（親族）が面倒をみててくれる等のいろいろなケースがあります。この場合も、決定後、学校を通して公共職業安定所に届けなければなりません。

(3) 就職先の選び方（公共職業安定所を利用した場合）

中学校の場合は、公共職業安定所への窓口は学校ですから、就職する意思が決定すれば担任の先生に申し出てください。そして、自分の興味・関心・適性などを考えて、職種を選びましょう。職業安定所でまとめられた求人情報で事業所の規模、通勤経路、賃金、労働時間、休日、保険、福利厚生面等いろいろな条件を調べておきましょう。その上で職場見学をし、自分自身で確かめることが大切です。

十分に資料を集め、それをよく検討し、家族や担任の先生とよく相談しましょう。公共職業安定所の職員との職業相談では、求人の内容について、より詳しく説明してもらえます。

(4) 自分の職業に誇りをもつ

自分で選んだ職業を大切にし、根気強くがんばり、自分の職業に自信と誇りをもつことが大切です。働き出すと、きっと苦しいことや嫌なことにぶつかることがあるでしょう。

時には悩み、不満を抱いたり、先輩や上司に叱られて泣きたくなることもあるかもしれません。

しかし、学校から社会に巣立ち、立派な社会人になるためには、このような悩みや不満に負けたり絶望したりしないで、自分の力で解決し、力強く前進することが大切です。

もし、自分の力ではどうしても解決できない場合には、家族や職場の先輩、職業安定所の職員、中学校の先生などに相談し、問題を解決してください。

1 2. 学費について

	入 学 金	授 業 料	そ の 他
公立高校 (府立、市立)	5,650 円	府立 年間 0 円(118,800 円) 市立 年間 0 円(118,800 円)	教科書代・体操服代など 70,000 円ぐらい必要になります。
私立高校	平均 200,000 円	年間 平均 541,400 円	施設協力金や諸経費(制服、教科書、教材など)、積立金、諸会費などがかかります。
高等専修学校	平均 200,000 円	年間 平均 40~60 万円	専門的な技能修得のため、授業料以外にも高価な教材を必要とする場合があります。

(昨年度)

* 2010 年度より、授業料が国公立高校は無料になりました。また、大阪府内の私立も年収 590 万未満程度の世帯の生徒に対して申請後に返還され無償化になり、年収 590 万以上 800 万未満程度の世帯の生徒は、授業料負担額が年額 20 万程度になります。

ただし、授業料は一旦納入しなければなりません。

また、入学金や教科書代、修学旅行費など授業料以外のお金はこの対象にはなりません。

1 3. 奨学金制度について

奨学金制度とは、進学の意欲を持つ子どもたちが、家庭の事情や経済的理由により進学をあきらめることなく、夢や希望の実現に向けて、自らの能力や適性にあった進路を選択できるように経済的、精神的に支援していくためのものです。いずれも貸与された学資は、その学校を卒業してから無利息で長期(20 年位)で返済すればよいので、安心して進学できるように、積極的に活用してください。

奨学金の種類

名 称	貸 与 金 額 (月 額)	返還
日本学生支援機構	(高等専門学校進学者のみ) 21,000 円~	大学に進学した場合は 返済期間が猶予され 大学卒業後から返還していく
大阪府育英会 【貸付】	奨学資金 授業料実質負担額+ その他教育費 10 万円以内	高校卒業後 6 か月を経て から定められた返済 金額を返還していく
	入学時増額奨学資金 国公立 50,000 円以内 私立 250,000 円以内	
大阪市奨学費 【給付】	【給付】 第1学年に属する生徒は年額107,000円 (入学年度に限る) その他の生徒 年額 72,000 円以内	なし

※この他交通費・災害費を対象とする奨学資金もあります。

※大阪府育英会の奨学資金・大阪市奨学費は高校に入学してからも募集があります。

(大阪府育英会の入学時増額奨学資金は、高校に入学してからの募集はありません。)

14. 11月からの進路の流れ

	11月	12月	1月	2月	3月	
1 日		火	金 元旦	月	火 公立特別選抜発表	1
2 月		水	土	火	水	2
3 火	文化の日	木	日	水	木 公立一般選抜出願	3
4 水		金	月	木	金	4
5 木		土	火	金	土	5
6 金		日	水	土	日	6
7 土		月	木 始業式	日	月	7
8 日		火	金 総合テストV	月	火	8
9 月	進路懇談	水	土	火	水	9
10 火	ユ	木	日	水 私立入試	木 公立一般選抜	10
11 水		金	月 成人の日	木 建国記念の日	金 卒業式	11
12 木		土	火	金	土	12
13 金	進路懇談	日	水	土	日	13
14 土	進路説明会	月	木	日	月	14
15 日		火 進路懇談	金	月 公立特別選抜出願	火	15
16 月		水	土	火	水	16
17 火		木	日	水 進路懇談	木	17
18 水	総合テストIV	金	月	木	金 公立一般選抜発表	18
19 木		土	火	金	土	19
20 金		日	水	土	日	20
21 土		月 進路懇談	木	日	月 春分の日	21
22 日		火	金	月 公立特別選抜	火	22
23 月	勤労感謝の日	水 天皇誕生日	土	火 公立特別選抜実技	水 二次入学者選抜	23
24 火		木	日	水	木 修了式	24
25 水	期末テスト	金 終業式	月 学年末テスト	木	金	25
26 木		土	火	金	土	26
27 金		日	水 私立出願	土	日	27
28 土		月	木	日	月	28
29 日		火	金	月	火	29
30 月		水	土	★	水	30
31 ★		木	日	★	木	31
備 考 欄	進路説明会 進路懇談 総合テストIV 期末テスト	進路懇談	総合テストV 学年末テスト 私立出願	私学入試 公立特別出願 公立特別入試 進路懇談	卒業式 公立一般出願 公立一般入試	

1.5. 私立高校受験について

大阪府下には私立高校が数多くあります。

私立高校は、設立母体となる団体がいろいろであったり、男子のみ女子のみの学校であったり、また、しつけ、スポーツ振興、進学指導等に力を入れる学校、あるいはその系列の大学への進学を保障する学校等、それぞれが公立高校では見られない特色ある校風を持っています。共学校の中には、あるコースだけが共学であり、その他のコースは共学でない場合もあり注意が必要です。

諸経費については、公立に比べてかなり高くつくことも承知しておく必要があります。

(1) 「専願」と「併願」のちがい

① 専願…合格すれば必ずその学校へ進学します。(公立高校は受検できません。)

もし、専願で不合格になった時は、公立高校を受検することができます。

専願者には、入試の合否で併願者よりも有利にしている高校がほとんどです。たとえば500点満点の入試で併願は350点以上が合格、専願は300点で合格ということがあります。

② 併願…公立・私立の両方を受験することです。第一希望が公立ですが、もしもの場合を考えて私立を受験しておくという出願の方法です。したがって、併願で私立を受験し合格しても公立を受検することができます。

(2) 出願

① 居住地に関係なく、どの学校でも受験できます。

② 私立高校の専願で出願したあとは、併願に変更したり、合格した場合、公立高校を受けることはできません。

③ 大阪・京都・兵庫の私立は試験日(2/10)が同じですから、2校を受験することはできません。ただし、奈良(2/6)や和歌山(1/30)は試験日が違うので、受験が可能です。

④ 出願受付は、1月下旬頃までで、提出書類として次のものを揃えて出願します。

(提出書類) 入学志願書(高校によって様式が異なります)

個人報告書(中学校で作成・提出します。)

検定料=受験料

その他、通信用封筒など(専願者の場合推薦書の必要な学校もあります。)

*願書は中学校で用意しません。1/7の3学期始業式までに各自、学校説明会などに行ったとき
にもらっておいてください

(3) 入試の合否

- ・ 学力検査の得点
- ・ 面接(実施しない高校もある。)
- ・ 中学校からの報告書

上記の3つの項目による総合判定で合否が決定されます。

①学力検査（今年度は2/10です）

- ・各高校が作成した入学試験問題により実施されます。
- ・出題傾向は、その高校ごとに特徴があるので過去の問題を勉強することが大切です。
- ・入試科目…5教科入試あるいは、3教科入試の学校が多いですが、近年多様化しています。

例 5教科の高校 <国・社・数・理・英> 3教科の高校 <国・数・英>
4教科の高校 <国・数・理・英> 2教科の高校 <国>と好きな教科を選択

②面接（今年度は2/10もしくは11です。）

- ・面接を実施する高校が多いです。方法は、個人面接、グループ面接など、高校によって違います。
- ・面接を特に重視する高校も少なくはありません。いずれにしても服装・態度・言葉遣いから、本人の人柄を見るのが目的ですから、日頃の生活態度が大切です。

③個人報告書

- ・中学校からの調査書です。どの程度合否に関係するかは、高校によって違います。
- ・2学期末の9教科の5段階評定を記載します。

（4）私立校選定に際しての留意事項

①私立の場合、募集人員と合格者数は、普通一致しません。（募集方針や専・併願者の関係による）

②受験する高校によっては、成績優秀な受験生などに対して、特別入学制度を設けている学校もあります。高校が設けた基準に該当する場合、入学金・授業料などを免除する制度です。

③1つの高校の中に色々なコースを設けている学校が多いです。その場合、第1希望、第2希望…を志望でき、結果によっては第1希望に点数が及ばないときでも第2希望で合格できる「回し合格」という制度があります。

④コースによっては、クラブ活動ができないコースもあります。

（5）私立高校2次募集と1.5次募集

私立高校2次募集は、一般に公立高校との併願者が公立を不合格になって、実際に私立高校へ入学する数を確認してから不足人数だけを募集するものです。

したがって、専願のみの募集になる場合が多く、募集定員が少なく非常に難しくなることもありますので、2次試験をあてにした受験は避けるべきです。

なお、最近は1.5次募集といって、私立高校発表後、募集する私立高校もありますが、これも2次募集と同じように難しいです。

2016年度 私立高校の変更点

1. 学科・コース等の新設

大阪成蹊女子	「美術」科を新設し、「アート・イラスト・アニメーション」コースを新設
香ヶ丘リベルテ	普通科に「ライフデザイン」コースを新設
城南学園	普通科に「看護特進」コースを新設
追手門学院大手前	普通科に「スーパー選抜」コースを新設
大阪学芸	普通科に「国際(特進・進学)」コースを新設
昇陽	普通科に「公務員チャレンジ」コースを新設
清明学院	普通科に「進学」コースを新設
大商学園	普通科に「特進Ⅱ類」コースを新設
浪速	普通科に「文理S1」コースを新設

2. 学科・コース等の変更

清風	「理数」科を「普通」科に変更
大阪聖母女学院	普通科の「文理総合」コースを「国際総合」コースに名称変更
金蘭会	普通科の「総合進学」コースを「I類 総合進学」コースに、「保育児童コースを「I類 保育児童」コースに、「スポーツ・特技」コースを「I類 スポーツ・特技」コースに、「特別進学」コースを「II類 特別進学」コースに、「看護進学」コースを「II類 看護進学」コースに名称変更
樟蔭	普通科の「健康栄養コースフードスタディ専科」コースを「フードスタディ」コースに名称変更
梅花	普通科の「舞台芸術・スポーツ」コースを「舞台芸術」コースに名称変更
あべの翔学	普通科の「普通進学」コースを「普通進学(選抜クラス)」コースにと「普通進学(進学コース)」コースに変更
大阪偕成学園	普通科の「総合選択」コースを「総合」コースに名称変更
大阪学芸	普通科の「特進(国英・国際)」コースを「特進」コースに、「進学(国英・国際)」コースを「進学」コースに名称変更
大阪産業大学附属	国際科の「特進」コースと「進学」コースを「グローバル」コースに名称変更
関西大学	「安全科学」科を「普通」科に変更(認可申請中)
関西福祉大学金光桐蔭	普通科の「ITライセンス」コースを「メディア・アート」コースに名称変更
賢明学院	普通科の「特進医歯薬理系」コースを「選抜文理」コースに名称変更
金光八尾	普通科の「特進I(6年)」コースを「S特進(6年)」コースに名称変更
清明学院	普通科の「文理特別進学」コースを「文系特進」コースと「理系特進」コースに変更。普通科の「普通」コースを「総合」コースに名称変更
大商学園	普通科の「特進」コースを「特進I類」コースに名称変更

3. 募集を廃止し、停止した学科・コース

あべの翔学	普通科の「看護特進」コースを廃止
浪速	理数系の「SS」コースを廃止

4. その他の変更

大阪女学院	普通科の「理系」コースの募集を2類と1類の二つの募集に変更
星翔	普通科の「アドバンス・キャリア」コースの募集を「コース別募集」から「一括募集」に変更

5. 外部生徒募集をしない学校

高槻、大谷、金蘭千里

16. 公立高校受検について

高校進学の場合、公立高校では、各都道府県とも自分の住んでいる都道府県内の進学が原則になっています。公立高校は合格すれば必ず進学しなければいけません。

出願資格

- 全日制の場合は、大阪府内の中学卒業者（見込み者含む）であって、本人および保護者の住所が府内にあるもの。（住所とは、住民票に記載されている居所をいう。）
- 定時制・通信制の場合は、本人の住所または職場が大阪府内にあること。

日程

選抜の種類		出願期間	学力検査等	合格者発表		
特別入学者選抜	全日制	・工業に関する学科 (建築デザイン科・インテリアデザイン科・プロダクトデザイン科・映像デザイン科・ビジュアルデザイン科・デザインシステム科) ・美術科 ・体育に関する学科 ・芸能文化科 ・演劇科 ・総合造形科	2月15日(月) 及び 2月16日(火)	学力検査 2月22日(月) 実技検査 2月23日(火)	3月1日(火)	
		・音楽科	2月2日(火) 及び 2月3日(水)	視唱、専攻実技 2月14日(日) 学力検査、聴音 2月22日(月)		
		・デュアル総合学科 ・総合学科（エンパワメントスクール）	2月15日(月) 及び 2月16日(火)	学力検査 2月22日(月)		
	多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部（クリエイティブスクール）	多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部（クリエイティブスクール）	面接	2月23日(火)		
		昼夜間単位制				
海外から帰国した生徒の入学者選抜		2月15日(月) 及び 2月16日(火)	学力検査、面接 2月22日(月)	3月1日(火)		
中国等帰国生徒及び外国人生徒入学者選抜			学力検査、作文 2月22日(月)			
連携型中高一貫教育に係る入学者選抜			小論文、面接 2月22日(月)			
知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜			面接 2月18日(木)、19日(金)、22日(月)、23日(火)のうち一日			
一般入学者選抜	全日制	・普通科（総合選択制及び単位制高等学校を含む。） ・商業に関する学科 ・グローバルビジネス科 ・農業に関する学科 ・工業に関する学科（特別選抜実施学科を除く。） ・情報科学科 ・英語科 ・国際教養科 ・国際文化科 ・グローバル科 ・国語科 ・理数科 ・総合科学科 ・サイエンス創造科 ・文理学科 ・福祉ボランティア科 ・食物文化科 ・総合学科（クリエイティブスクールを含み、デュアル総合学科及びエンパワメントスクールを除く。）	3月3日(木) 3月4日(金) 及び 3月7日(月)	3月10日 (木)		
		多部制単位制Ⅲ部（クリエイティブスクール） 定時制の課程				

通信制の課程	3月4日(金) 3月6日(日) 及び 3月7日(月)	面接 3月11日(金)、13日 (日)、14日(月)のうち 1日	
二次入学者選抜(実施校がある場合) 知的障がい生徒自立支援コース補充入学者選抜 (実施校がある場合)	3月23日(水)	面接 3月23日 (水)	3月25日(金)
秋季入学者選抜	9月12日(月)	基礎学力診断検査等、面 接 9月15日(木)	9月21日(水)

平成28年度特別入学者選抜実施校

(1) 全日制の課程(総合学科(エンパワメントスクール)を除く。)

学科名等	高等学校名		
	府立	市立	
工業に関する学科	建築デザイン科 インテリアデザイン科 プロダクトデザイン科 映像デザイン科 ビジュアルデザイン科	_____	市立工芸
	デザインシステム科	_____	岸和田市立産業
美術科	_____	市立工芸	
体育に関する学科	摂津、大塚	市立桜宮、市立汎愛	
芸能文化科	東住吉	_____	
演劇科	_____	市立咲くやこの花	
音楽科	夕陽丘	_____	
総合造形科	港南造形	_____	
デュアル総合学科	布施北	_____	

(注)「市立」欄で、岸和田市立の高等学校以外は大阪市立の高等学校である。

(2) 全日制の課程総合学科(エンパワメントスクール)

学科名	高等学校名	
	府立	
総合学科	成城、西成、長吉、箕面東、岬	

(3) 多部制単位制I部・II部(クリエイティブスクール)及び昼夜間単位制

課程等・学科名	高等学校名	
	府立	市立
多部制単位制I部・II部 普通科	桃谷	_____
昼夜間単位制 普通科 ビジネス科	_____	市立中央

(注)「市立」欄は、大阪市立の高等学校である。

平成28年度海外から帰国した生徒の入学者選抜実施校

(全日制の課程)

学 科 名	高 等 学 校 名	
	府 立	市 立
英 語 科	_____	市立東、大阪市立、市立西、市立南、東大阪市立日新
国際教養科	旭、枚方、花園、長野、佐野	_____
国際文化科	住吉、千里、泉北	_____
グローバル科	箕面、和泉	_____
総合学科	住吉、千里、泉北	_____

(注) 「市立」欄で、東大阪市立の高等学校以外は大阪市立の高等学校である。

平成28年度中国等帰国生徒及び外国人生徒入学者選抜実施校

(全日制の課程)

学 科 名 等	高 等 学 校 名	
	府 立	
普 通 科	布施北	
普 通 科 総 合 選 択 制	門真なみはや、成美	
総 合 学 科	福井、八尾北	
デ ュ ア ル 総 合 学 科	布施北	
総合学科(エンパワメントスクール)	長吉	

平成28年度連携型中高一貫教育に係る入学者選抜実施校

(全日制の課程)

学 科 名	高 等 学 校 名	
	府 立	
普 通 科	柏原東	
総 合 学 科	能勢	

平成28年度知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜実施校

(全日制の課程)

学 科 名 等	高 等 学 校 名	
	府 立	市 立
普通科 知的障がい生徒自立支援コース	阿武野、八尾翠翔	市立桜宮
普通科総合選択制 知的障がい生徒自立支援コース	枚方なぎさ	_____
フラワーファクトリ科・環境緑化科・バイオサイエンス科 知的障がい生徒自立支援コース	園芸	_____
機械工学科・電気工学科・理工学科 知的障がい生徒自立支援コース	_____	市立東淀工業
総合学科 知的障がい生徒自立支援コース	柴島、松原、堺東、貝塚	_____
総合学科(エンパワメントスクール) 知的障がい生徒自立支援コース	西成	_____

(注) 「市立」欄は、大阪市立の高等学校である。

平成 28 年度一般入学者選抜実施校

(1) 全日制の課程（総合学科（クリエイティブスクール）を除く。）

□ は普通科総合選択制の高等学校を示す。

学 科 名 等	高 等 学 校 名	
	府 立	市 立
普通科 (総合選択制を含む。)	東淀川、北淀、大手前、旭、西淀川、茨田、清水谷、 高津、夕陽丘、港、泉尾、大正、勝山、阿倍野、 東住吉、平野、阪南、池田、渋谷、豊中、桜塚、豊島、 刀根山、箕面、春日丘、茨木、茨木西、北摂つばさ、 吹田、吹田東、北千里、山田、三島、高槻北、芥川、 阿武野、大冠、摂津、島本、四條畷、寝屋川、 西寝屋川、北かわち皋が丘、枚方、長尾、牧野、 香里丘、枚方津田、枚方なぎさ、守口東、門真西、 門真なみはや、野崎、緑風冠、交野、布施、花園、 布施北、かわち野、みどり清朋、山本、八尾、 八尾翠翔、生野、大塚、柏原東、河南、富田林、金剛、 懐風館、長野、長野北、藤井寺、狭山、登美丘、泉陽、 三国丘、金岡、東百舌鳥、堺西、福泉、堺上、成美、 美原、泉大津、伯太、信太、高石、和泉、岸和田、 久米田、佐野、日根野、貝塚南、りんくう翔南、泉鳥取	市立東、市立桜宮、市立汎愛、 大阪市立、東大阪市立日新
普通科 (単位制高等学校)	市岡、大阪府教育センター附属、槻の木、鳳	_____
学 科 商 業 に 関 す る 商 業 科	_____	市立淀商業、市立住吉商業、 市立鶴見商業、東大阪市立日新、 岸和田市立産業
流 通 経 済 科	_____	市立西
マネジメント創造科	_____	堺市立堺
グローバルビジネス科	_____	市立大阪ビジネスフロンティア
農 業 に 關 す る 学 科	園芸、農芸	_____
工 業 に 關 す る 学 科 (特別選抜実施学科を除く。)	淀川工科、西野田工科、今宮工科、茨木工科、 城東工科、布施工科、藤井寺工科、堺工科、佐野工科	市立都島工業、市立生野工業、 市立泉尾工業、市立東淀工業、 堺市立堺
情 報 科 学 科	_____	市立西
英 語 科	_____	市立東、大阪市立、市立西、 市立南、東大阪市立日新
国際教養科	旭、枚方、花園、長野、佐野	_____
国際文化科	住吉、千里、泉北	_____
グローバル科	箕面、和泉	_____
国 語 科	_____	市立南
理 数 科	_____	市立東、大阪市立
総 合 科 学 科	住吉、千里、泉北	_____
サイエンス創造科	_____	堺市立堺
文 理 学 科	北野、大手前、高津、天王寺、豊中、茨木、四條畷、生野、三国丘、岸和田	_____
福祉ボランティア科	_____	市立淀商業
食 物 文 化 科	_____	市立咲くやこの花
総 合 学 科	柴島、今宮、能勢、千里青雲、福井、芦間、枚岡樟風、 八尾北、松原、堺東、貝塚	市立扇町総合、 市立咲くやこの花

(注) 「市立」欄で、堺市立、東大阪市立及び岸和田市立の高等学校以外は大阪市立の高等学校である。

(2) 全日制の課程総合学科（クリエイティブスクール）

学 科 名	高 等 学 校 名
	府 立
総 合 学 科	東住吉総合、和泉総合

(3) 多部制単位制Ⅲ部（クリエイティブスクール）及び定時制の課程

*は、多部制単位制Ⅲ部

学 科 名 等	高 等 学 校 名	
	府 立	市 立
普 通 科	大手前、桜塚、春日丘、寝屋川、布施、三国丘	市立都島第二工業、 東大阪市立日新
商 業 科 る学 科に 関す	商 業 科	岸和田市立産業
	マネジメント創造科	堺市立堺
工 業 に 関 す る 学 科		市立都島第二工業、市立第二工芸、 堺市立堺
総 合 学 科	西野田工科、今宮工科、茨木工科、藤井寺工科、 堺工科、佐野工科、成城	_____
総 合 学 科 (クリエイティブスクール)	和泉総合	_____
*普 通 科 (クリエイティブスクール)	桃谷	_____

(注)「市立」欄で、堺市立、東大阪市立及び岸和田市立の高等学校以外は大阪市立の高等学校である。

(4) 通信制の課程

学 科 名	高 等 学 校 名	
	府 立	
普 通 科	桃谷	

平成28年度秋季入学者選抜実施校

(多部制単位制Ⅰ部、Ⅱ部及びⅢ部（クリエイティブスクール）)

学 科 名	高 等 学 校 名	
	府 立	
普 通 科	桃谷	

平成28年度大阪府公立高等学校入学者選抜における学力検査問題等について

学力検査及び実技検査等の問題は、大阪府教育委員会（以下「府教育委員会」という。）が作成する。学力検査の問題は、中学校卒業までに習得される基礎的な学力を評価することを主眼として、国語、社会、数学、理科、英語について作成する。

1 国語、数学、英語の学力検査問題について、特別入学者選抜（以下「特別選抜」という。）においては2種類、一般入学者選抜（以下「一般選抜」という。）においては3種類をそれぞれ作成する。各高等学校は、課程別、多部制単位制におけるⅠ・Ⅱ部とⅢ部で使用する問題を選択して高等学校を設置する教育委員会に申請し、同教育委員会はこの申請を踏まえて決定し、事前に公表する。

問題の種類、特徴、検査時間及び配点については、次のとおりとする。

〔国 語〕

種類	特 徴	特別選抜		一般選抜	
		検査時間	配 点	検査時間	配 点
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出題する。	40分	45点	50分	90点
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出題する。	40分	45点	50分	90点
C (発展的問題)	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出題する。			50分	90点

〔数 学〕

種類	特 徴	特別選抜		一般選抜	
		検査時間	配 点	検査時間	配 点
A (基礎的問題)	基礎的な計算問題を出題するとともに、「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出題する。	40分	45点	50分	90点
B (標準的問題)	「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出題する。	40分	45点	50分	90点
C (発展的問題)	「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出題する。			60分	90点

〔英 語〕

種類	特 徴	特別選抜		一般選抜	
		検査時間	配 点	検査時間	配 点
A (基礎的問題)	基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出題する。	40分 (別途リスニングテスト15分)	45点	40分 (別途リスニングテスト15分)	90点
B (標準的問題)	基礎的な語彙・文法についての理解を問うたうえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出題する。	40分 (別途リスニングテスト15分)	45点	40分 (別途リスニングテスト15分)	90点
C (発展的問題)	標準的・発展的な内容の英文について話題や論理の流れに沿って読み取る力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出題する。			40分 (別途リスニングテスト15分)	90点

リスニングテストについては、A、B、C共、同一問題を使用します。

2 社会、理科については、特別選抜及び一般選抜において、1種類ずつを府教育委員会が作成する。
検査時間、配点については次のとおりとする。

教 科	特別選抜		一般選抜	
	検査時間	配 点	検査時間	配 点
社 会	40分	45点	40分	90点
理 科	40分	45点	40分	90点

3 実技検査の検査内容、検査種目、配点については、以下のとおりとする。

学 科	検査内容	検査種目	配 点
工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、プロダクトデザイン科、映像デザイン科、ビジュアルデザイン科及びデザインシステム科）、美術科及び総合造形科	美術に関する基礎的な描写力及び総合的な表現力	基礎的描写	75点
		総合的表現	75点
体育に関する学科	運動に関する基礎的な能力及び希望する検査種目における技能	運動能力	45点
		運動技能	180点
芸能文化科	芸能文化に関する基礎的な表現力及び探究力	朗読・口頭試問*	100点
演劇科	演技に関する基礎的な表現力	身体表現	75点
		歌唱表現	75点
音楽科	音楽に関する基礎的な視唱力・聴取力及び希望する専攻実技における表現力	視唱	30点
		専攻実技	100点
		聴音	20点

* 口頭試問：府教育委員会が提示した芸能文化に関する課題について試験員が質問し、それに対して受験生が回答する。
課題及び検査の詳細については、9月に公表予定。

☆特別入学者選抜

I 全日制の課程専門学科（工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、プロダクトデザイン科、映像デザイン科、ビジュアルデザイン科及びデザインシステム科）、美術科、体育に関する学科、芸能文化科、演劇科、音楽科及び総合造形科）

1 出願

(1) 出願は、1校1学科に限る。

ただし、募集人員を複数の学科ごとに設定している学校においては、他の1学科を第2志望とすることはできる。入学志願書は中学校で用意します。検定料は2200円です。

(2) 出願期日及び出願時間は、次のとおりとする。

音楽科

2月2日	火	午前9時～午後4時
2月3日	水	

音楽科以外の学科

2月15日	月	午前9時～午後4時
2月16日	火	

2 学力検査等

選抜のための学力検査等として、学力検査及び実技検査を行う。

(1) 学力検査

学力検査は、2月22日（月）午前8時50分から行う。

学力検査の問題は、国語、社会、数学、理科、英語についてなお、英語の学力検査にはリスニングテストを含む。また、国語、数学及び英語の学力検査については、「基礎的問題」と「標準的問題」の2種類の問題を作成する。ただし、リスニングテストは同一問題とする。

(2) 実技検査

実技検査を実施する学科、検査内容、検査種目及び検査日は次のとおりとし、当該学科の入学者選抜を実施する高等学校の校長が、当該高等学校において行う。

学科名	検査内容	検査種目	検査日
工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、プロダクトデザイン科、映像デザイン科、ビジュアルデザイン科及びデザインシステム科）、美術科及び総合造形科	美術に関する基礎的な描写力及び総合的な表現力	基礎的描写	2月23日（火）
		総合的表現	
体育に関する学科	運動に関する基礎的な能力及び希望する検査種目における技能	運動能力	2月23日（火）
		運動技能	
芸能文化科	芸能文化に関する基礎的な表現力及び探究力	朗読	2月23日（火）
		口頭試問	
演劇科	演技に関する基礎的な表現力	身体表現	2月23日（火）
		歌唱表現	
音楽科	音楽に関する基礎的な視唱力・聴取力及び希望する専攻実技における表現力	視唱	2月14日（日）
		専攻実技	
		聴音	2月22日（月）

(注) 1 体育に関する学科の実技検査については、9月18日に発表した「平成28年度入学者選抜実技検査内容（体育に関する学科）」を参照のこと。

2 芸能文化科の実技検査については、9月18日に発表した「平成28年度入学者選抜実技検査

内容（大阪府立東住吉高等学校芸能文化科における「口頭試問」）」を参照のこと。

- 3 演劇科の実技検査については、9月18日に発表した「平成28年度入学者選抜実技検査内容（大阪市立咲くやこの花高等学校演劇科）」を参照のこと。
 4 音楽科の実技検査については、9月18日に発表した「平成28年度入学者選抜実技検査内容〔課題曲等〕（大阪府立夕陽丘高等学校音楽科）」を参照のこと。

(3) 学力検査等の実施時間割及び配点は、次のとおりとする。

学力検査等の実施時間割及び配点

- ・音楽科以外の学科

2月22日(月)

時 限	第1時	第2時	第3時		第4時	第5時
検査教科	国 語	数 学	英 語		理 科	社 会
時 間	4 0分	4 0分	4 0分	リスニングテスト 15分	4 0分	4 0分
時 刻	9:00 9:40	10:00 10:40	11:00 11:40	11:50 12:05	13:00 13:40	14:00 14:40
配 点	4 5点	4 5点	4 5点		4 5点	4 5点

- ・音楽科

2月22日(月)

時 限	第1時	第2時	第3時		第4時	第5時	第6時
検査教科等	国 語	数 学	英 語		理 科	社 会	聴 音
時 間	4 0分	4 0分	4 0分	リスニングテスト 15分	4 0分	4 0分	3 0分
時 刻	9:00 9:40	10:00 10:40	11:00 11:40	11:50 12:05	13:00 13:40	14:00 14:40	15:00 15:30
配 点	4 5点	4 5点	4 5点		4 5点	4 5点	2 0点

実技検査の実施時間割及び配点

- ・工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、プロダクトデザイン科、映像デザイン科、ビジュアルデザイン科及びデザインシステム科）、美術科、総合造形科

2月23日(火)

検査種目	基礎的描写	総合的表現
時 間	4 0分	6 0分
時 刻	9:00 9:40	10:00 11:00
配 点	7 5点	7 5点

- ・体育に関する学科

2月23日(火)

検査種目	運動能力	運動技能
時 間	—	—
時 刻	9:00から 各個人別に実施	すべての受験者の 「運動能力」の検査 終了後、昼食をはさみ 午後に各個人別に実施
配 点	4 5点	1 8 0点

- ・芸能文化科
2月23日(火)

検査種目	朗 読	口頭試問
時 間	—	—
時 刻	9:00から 各個人別に実施	すべての受験者の 「朗読」の検査終了後から 各個人別に実施
配 点	50点	50点

- ・演劇科
2月23日(火)

班 別	午 前 の 班		午 後 の 班	
検査種目	身体 表現	歌唱 表現	身体 表現	歌唱 表現
時 刻	9:00から 各個人別 に実施	9:00から 各個人別 に実施	12:50から 各個人別 に実施	12:50から 各個人別 に実施
配 点	75点	75点	75点	75点

(注)
受験者を午前の班、午後の班に二分して実施する。

- ・音楽科
2月14日(日)

班 別	午 前 の 班		午 後 の 班	
検査種目	視 唱	専攻実技	視 唱	専攻実技
時 刻	9:20から 各個人別 に実施	9:50から 各個人別 に実施	12:30から 各個人別 に実施	13:00から 各個人別 に実施
配 点	30点	100点	30点	100点

(注)
1 受験者を午前の班、午後の班に
二分して実施する。
2 実技検査は、視唱30点、専攻実
技100点に、聴音
(2月22日(月)実施) 20点を加え
て、合計 150点満点。

選抜に当たっては、学力検査及び実技検査の成績に、調査書中の必修の全教科の評定を加えた総合点を基本に、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録をも資料として選抜を行う。

なお、総合点の算出に当たっては、次のように行う。

- ア 学力検査の各教科の成績を合計する。(225点満点)
- イ 調査書中の各教科の評定を5倍して合計する。(225点満点)
- ウ ア及びイで算出した点数に、次の5つのタイプで示された倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を所管する教育委員会が決定した倍率をそれぞれかけて合計する。
- エ ウで算出した点数に、実技検査の成績を加え、総合点とする。

学力検査の成績及び調査書の評定に かける倍率のタイプ	学力検査の成績にかける 倍率	調査書の評定にかける 倍率
I	1. 4倍	0. 6倍
II	1. 2倍	0. 8倍
III	1. 0倍	1. 0倍
IV	0. 8倍	1. 2倍
V	0. 6倍	1. 4倍

- (4) 合格者の決定に当たっては、次のように行う。
- ア 総合点の高い者から、募集人員の110%に当たる者までを(I)群とする。
- イ (I)群において、総合点の高い者から募集人員の90%に当たる者までを合格とし、残りの者を(II)群(ボーダーゾーン)とする。
- ウ ボーダーゾーンの中から、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録を資料として、その高等学校的アドミッションポリシー(求める生徒像)に極めて合致する者を優先的に合格とする。
- エ ウによる合格者が募集人員を満たさない場合は、総合点の高い者から順に募集人員を満たすよう合格者を決定する。
- (5) 複数の学科を設置している高等学校における各学科の合格者の決定は、次のように行う。
- ア すべての受験者を、第1志望の学科に関係なく総合点の高い者から順に並べる。
- イ 総合点の高い者から順に、第1志望の学科に振り分ける。
- ウ イにおいて各学科の募集人員の110%に当たる人数に先に達した学科について、(4)の手順により合格者を決定する。
- エ すでに合格となった者及びウにおいて選抜を行った学科のみを志望している者を除き、ア、イ、ウの手順を繰り返し、各学科の合格者を決定する。
- ただし、イにおいて、第1志望の学科にすでに不合格となり、他の学科を第2志望としていた者については、第2志望の学科を第1志望として扱う。

知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜

- ① 平成28年3月に大阪府内の中学校を卒業する見込みの者
- ② 療育手帳を所持している者又は児童相談所等の公的機関により知的障がいを有すると判定を受けた者
- ③ 自主的な通学が可能である者

I 出願

- 1 出願は、1校に限る。
- 2 出願期日及び出願時間は、次のとおりとする。

2月15日	月	午前9時～午後4時
2月16日	火	

- 3 志願者は、下記の書類等を志願先高等学校長に提出する。(郵送は認めない。)

- (1) 入学志願書
- (2) 自己申告書

自己申告書は、原則として、志願者の自筆とするが、志願者が保護者等と相談のうえ、他の者が記入してもよい。

- (3) 療育手帳の写し又は知的障がいを有するという判定の写し

- (4) 入学検定料

ア **府立**の高等学校への志願者については、府立学校用の納付書(府立全日制用)により、その裏面に指定された金融機関窓口で入学検定料2,200円をあらかじめ納入し、領収印が押印された入学検定料納付証明書(入学志願書貼付用)を入学志願書の裏面の「1 大阪府立の高等学校に出願する場合」の貼付欄にはりつけて提出する。

イ **大阪市立**の高等学校への志願者については、大阪市立学校用の納付書(大阪市立全日制用)により、その裏面に指定された金融機関窓口で入学検定料2,200円をあらかじめ納入し、領収印が押印された納付証明書(入学志願書貼付用)を入学志願書の裏面の「2 大阪市立の高等学校に出願する場合」の貼付欄にはりつけて提出する。

- (5) 「第1 全般的な事項」の「Ⅲ 応募資格」の1(2)に該当する者は、入学志願特別事情申告書及びその関係書類

II 学力検査等

学力検査は実施せず、面接を実施する。

- 1 面接の実施日については、次のとおりとする。

実施日	高等學校名
2月18日	木
2月19日	金
2月22日	月
2月23日	火

(注) 「高等学校名」欄の市立の高等学校は、大阪市立の高等学校である。

- 2 面接は、志願者全員について、各高等学校長が当該高等学校において行う。
- 3 面接は、自己申告書に基づいて、個人面接で行う。
- 4 面接は、保護者の同伴を原則とする。
- 5 面接の時間については、出願時に、当該高等学校長が示す。

III 入学者の選抜

高等学校長は、次の要領により入学者の選抜を行う。

- 1 高等学校長は、選抜のための補助機関として選抜委員会を組織し、厳正で円滑な選抜事務の遂行を図る。
- 2 選抜の資料は、調査書、推薦書及び面接の評価とする。
- 3 高等学校長は、2月3日（水）までに選抜実施計画を所管の教育委員会に報告する。

IV 合格者の発表

合格者の発表は、3月1日（火）午後2時に各高等学校において行う。

☆一般入学者選抜

全日制の課程普通科（総合選択制を含み、単位制高等学校を除く。）

全日制の課程専門学科（商業に関する学科、グローバルビジネス科、農業に関する学科、工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、プロダクトデザイン科、映像デザイン科、ビジュアルデザイン科及びデザインシステム科を除く。）、情報科学科、英語科、国際教養科、国際文化科、グローバル科、国語科、理数科、総合科学科、サイエンス創造科、文理学科、福祉ボランティア科及び食物文化科）及び全日制の課程総合学科（デュアル総合学科、エンパワメントスクール及びクリエイティブスクールを除く。）

1 出願

- (1) 出願は、1校1学科等に限る。

ただし、募集人員を複数の学科等ごとに設定している学校においては、他の1学科等を第2志望とすることができる。入学検定料 2,200円

- (2) 出願期日及び出願時間は、次のとおりとする。

3月3日	木	午前9時～午後4時
3月4日	金	
3月7日	月	午前9時～午後2時

2 学力検査

選抜のための学力検査を行う。

- (1) 学力検査は、3月10日（木）午前9時から行う。

- (2) 学力検査は、志願者全員について各高等学校長が、当該高等学校において行う。
- (3) 学力検査の問題は、国語、社会、数学、理科、英語についてなお、英語の学力検査にはリスニングテストを含む。また、国語、数学及び英語の学力検査については、「基礎的問題」、「標準的問題」及び「発展的問題」の3種類の問題を作成する。ただし、リスニングテストは同一問題とする。

各高等学校長はあらかじめ使用する問題を選択し、高等学校を所管する教育委員会において決定した「学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ」に示す種類の学力検査の問題で実施する。

- (4) 学力検査の実施時間割及び配点は、次のとおりとする。

・数学の学力検査において、「基礎的問題」又は「標準的問題」で選抜を実施する学校

時限	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時
検査教科	国語	数学	英語	理科	社会
時間	50分	50分	40分	リスニングテスト 15分	40分
時刻	9:10 ~ 10:00	10:20 ~ 11:10	11:30 ~ 12:10	12:20 ~ 12:35	13:30 ~ 14:10 ~ 15:10
配点	90点	90点	90点	90点	90点

・数学の学力検査において、「発展的問題」で選抜を実施する学校

時限	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時
検査教科	国語	数学	英語	理科	社会
時間	50分	60分	40分	リスニングテスト 15分	40分
時刻	9:10 ~ 10:00	10:20 ~ 11:20	11:40 ~ 12:20	12:30 ~ 12:45	13:40 ~ 14:20 ~ 15:20
配点	90点	90点	90点	90点	90点

3 入学者の選抜

高等学校長は、志願者数が募集人員を超過すると否とにかかわらず、次の要領により入学者の選抜を行う。

- (1) 選抜の資料は、調査書、学力検査の成績及び自己申告書とする。
- (2) 選抜に当たっては、学力検査の成績に、調査書中の必修の全教科の評定を加えた総合点を基本に、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録をも資料として選抜を行う。

なお、総合点の算出に当たっては、次のように行う。

- ア 学力検査の各教科の成績を合計する。 (450点満点)
- イ 調査書中の各教科の評定を10倍して合計する。 (450点満点)
- ウ ア及びイで算出した点数に、次の5つのタイプで示された倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を所管する教育委員会が決定した倍率をそれぞれかけて合計する。

学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率
I	1. 4倍	0. 6倍
II	1. 2倍	0. 8倍
III	1. 0倍	1. 0倍
IV	0. 8倍	1. 2倍
V	0. 6倍	1. 4倍

(3) 合格者の決定に当たっては、次のように行う。

- ア 総合点の高い者から、募集人員の110%に当たる者までを(I)群とする。
- イ (I)群において、総合点の高い者から募集人員の90%に当たる者までを合格とし、残りの者を(II)群（ボーダーゾーン）とする。
- ウ ボーダーゾーンの中から、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録を資料として、その高等学校のアドミッションポリシー（求める生徒像）に極めて合致する者を、優先的に合格とする。
- エ ウによる合格者が募集人員を満たさない場合は、総合点の高い者から順に募集人員を満たすよう合格者を決定する。

(5) 複数の学科等を設置している高等学校における各学科等の合格者の決定は、次のように行う。

- ア すべての受験者を、第1志望の学科等に関係なく総合点の高い者から順に並べる。
- イ 総合点の高い者から順に、第1志望の学科等に振り分ける。
- ウ イにおいて各学科等の募集人員の110%に当たる人数に先に達した学科等について、(4)の手順により合格者を決定する。
- エ すでに合格となった者及びウにおいて選抜を行った学科等のみを志望している者を除き、ア、イ、ウの手順を繰り返し、各学科等の合格者を決定する。

ただし、イにおいて、第1志望の学科等にすでに不合格となり、他の学科等を第2志望としていた者については、第2志望の学科等を第1志望として扱う。

全日制の課程普通科単位制高等学校及び全日制の課程総合学科（クリエイティブスクール）

1 選抜の種類等

- (1) 「学力検査と調査書による選抜」と「学力検査と面接による選抜」（調査書を要しない選抜）の2種類の選抜方法を設ける。
- (2) 平成28年3月に中学校を卒業する見込みの者についての選抜方法は、「学力検査と調査書による選抜」とする。
また、平成27年3月以前に中学校を卒業した者（過年度卒業者）についての選抜方法は、「学力検査と調査書による選抜」又は「学力検査と面接による選抜」のうちいずれか一方とし、志願者は出願時に選抜方法を申告するものとする。
- (3) 合格者の決定に当たっては、次のように行う。
 - ア 募集人員を、それぞれの選抜の受験者数の比に配分し、「学力検査と面接による選抜」の合格予定者数を決定する。
 - イ 「学力検査と面接による選抜」における合格者を、アの合格予定者数を上限として決定する。
 - ウ 「学力検査と調査書による選抜」の合格予定者数は、募集人員から、「学力検査と面接による選抜」の合格者数を除いたものとする。
 - エ 「学力検査と調査書による選抜」における合格者を、ウの合格予定者数を満たすよう決定する。

2 学力検査と調査書による選抜

(1) 出願

- ア 出願は、1校に限る。
イ 出願期日及び出願時間は、次のとおりとする。

3月3日	木	午前9時～午後4時
3月4日	金	
3月7日	月	午前9時～午後2時

ウ 志願者は、下記の書類等を志願先高等学校長に提出する。（郵送は認めない。）

- (ア) 入学志願書
(イ) 自己申告書 自己申告書は、原則として、志願者の自筆とする。
(ウ) 入学検定料 入学検定料 2,200円

(2) 学力検査

選抜のための学力検査を行う。

- ア 学力検査は、3月10日（木）午前9時から行う。
イ 学力検査は、志願者全員について各高等学校長が、当該高等学校において行う。
ウ 学力検査の問題は、国語、社会、数学、理科、英語についてなお、英語の学力検査にはリスニングテストを含む。
また、国語、数学及び英語の学力検査については、「基礎的問題」、「標準的問題」及び「発展的問題」の3種類の問題を作成する。ただし、リスニングテストは同一問題とする。
各高等学校長はあらかじめ使用する問題を選択し、府教育委員会において決定した「学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ」に示す種類の学力検査の問題で実施する。
エ 学力検査の実施時間割及び配点は、次のとおりとする。

・数学の学力検査において、「基礎的問題」又は「標準的問題」で選抜を実施する学校

時限	第1時	第2時	第3時		第4時	第5時
検査教科	国語	数学	英語		理科	社会
時間	50分	50分	40分	リスニングテスト 15分	40分	40分
時刻	9:10 10:00	10:20 11:10	11:30 12:10	12:20 12:35	13:30 14:10	14:30 15:10
配点	90点	90点	90点		90点	90点

・数学の学力検査において、「発展的問題」で選抜を実施する学校

時限	第1時	第2時	第3時		第4時	第5時
検査教科	国語	数学	英語		理科	社会
時間	50分	60分	40分	リスニングテスト 15分	40分	40分
時刻	9:10 10:00	10:20 11:20	11:40 12:20	12:30 12:45	13:40 14:20	14:40 15:20
配点	90点	90点	90点		90点	90点

(3) 入学者の選抜

- ア 選抜の資料は、調査書、学力検査の成績及び自己申告書とする。
- イ 選抜に当たっては、学力検査の成績に、調査書中の必修の全教科の評定加えた総合点を基本に、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録をも資料として選抜を行う。
- なお、総合点の算出に当たっては、次のように行う。
- (ア) 学力検査の各教科の成績を合計する。 (450点満点)
- (イ) 調査書中の各教科の評定を10倍して合計する。 (450点満点)
- (ウ) (ア)及び(イ)で算出した点数に、次の5つのタイプで示された倍率の中からあらかじめ各高等学
校長が選択し、府教育委員会が決定した倍率をそれぞれかけて合計する。
- エ 合格者の決定に当たっては、次のように行う。
- (ア) 総合点の高い者から、「1」の(3)ウにより定めた合格予定者数の110%に当たる者までを(I)群
とする。
- (イ) (I)群において、総合点の高い者から「1」の(3)ウにより定めた合格予定者数の90%に当たる者
までを合格とし、残りの者を(II)群(ボーダーゾーン)とする。
- (ウ) ボーダーゾーンの中から、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録を資料として、その高等学
校のアドミッションポリシー(求める生徒像)に極めて合致する者を、優先的に合格とする。
- (エ) (ウ)による合格者が、「1」の(3)ウにより定めた合格予定者数を満たさない場合は、総合点の高
い者から順に、「1」の(3)ウにより定めた合格予定者数を満たすよう合格者を決定する。

3 学力検査と面接による選抜

(1) 出願

出願については「2」の(1)による。

(2) 学力検査等

選抜のための学力検査等として、学力検査及び面接を行う。

ア 学力検査等は、3月10日(木)午前9時から行う。

イ 学力検査等は、志願者全員について各高等学校長が、当該高等学校において行う。

ウ 学力検査の問題は、「2」の(2)による。

エ 面接は、自己申告書に基づいて、個人面接で行う。

オ 学力検査の実施時間割及び配点は、次のとおりとする。

・ 数学の学力検査において、「基礎的問題」又は「標準的問題」で選抜を実施する学校

時限	第1時	第2時	第3時		第4時	第5時	第6時
検査教科等	国語	数学	英語		理科	社会	面接
時間	50分	50分	40分	リスニングテスト 15分	40分	40分	—
時刻	9:10 10:00	10:20 11:10	11:30 12:10	12:20 12:35	13:30 14:10	14:30 15:10	15:30から 個人別に 実施
配点	90点	90点	90点		90点	90点	—

- ・数学の学力検査において、「発展的問題」で選抜を実施する学校

時限	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時
検査教科等	国語	数学	英語	理科	社会	面接
時間	50分	60分	40分	リスニングテスト 15分	40分	40分
時刻	9:10 ~ 10:00	10:20 ~ 11:20	11:40 ~ 12:20	12:30 ~ 12:45	13:40 ~ 14:20	14:40 ~ 15:20
配点	90点	90点	90点	90点	90点	—

(3) 入学者の選抜

- ア 選抜の資料は、学力検査の成績、面接の評価及び自己申告書とする。
- イ 合格者の決定に当たっては、次のように行う。
- (ア) 「学力検査と調査書による選抜」及び「学力検査と面接による選抜」のすべての受験者を、学力検査の成績の高い者から順に並べる。
- (イ) 募集人員の90%の人数に含まれる「学力検査と面接による選抜」の受験者の中から、学力検査の成績が高い者から順に、「1」の(3)アにより定めた合格予定者数を満たすよう合格者を決定する。
- (ウ) (イ)により「学力検査と面接による選抜」の合格予定者数を満たさなかった場合は、「学力検査と面接による選抜」の受験者のうち、(イ)による合格者を除いた者の中から、面接の評価及び自己申告書を資料として、その高等学校のアドミッションポリシー（求める生徒像）に極めて合致する者を合格とする。
- ただし、(イ)による合格者に(ウ)による合格者を加えた人数は、「1」の(3)アにより定めた合格予定者数を上限とする。

4 合格者の発表

合格者の発表は、3月18日（金）午前10時に各高等学校において行う。

多部制単位制Ⅲ部（クリエイティブスクール）及び定時制の課程

1 選抜の種類等

- (1) 「学力検査と調査書による選抜」と「学力検査と面接による選抜」と「小論文と面接による選抜」の3種類の選抜方法を設ける。
- (2) 平成7年4月2日以降に生まれた者についての選抜方法は、「学力検査と調査書による選抜」とする。
- (3) 合格者の決定に当たっては、次のように行う。
- ア すべての学科の募集人員を合計した人数を、「学力検査と調査書による選抜」のすべての学科の受験者数の合計と「学力検査と面接による選抜」のすべての学科の受験者数の合計と「小論文と面接による選抜」のすべての学科の受験者数の合計の比に配分し、「学力検査と面接による選抜」と「小論文と面接による選抜」の合格予定者数を決定する。
- イ アで決定した「学力検査と面接による選抜」と「小論文と面接による選抜」の合格予定者数を、それぞれの選抜における各学科の第1志望の受験者数の比に配分し、「学力検査と面接による選抜」と「小論文と面接による選抜」における各学科の合格予定者数を決定する。
- ウ 各学科の「学力検査と面接による選抜」と「小論文と面接による選抜」における合格者を、イで決定した合格予定者数を満たすよう決定する。

エ 各学科の「学力検査と調査書による選抜」の合格予定者数は、各学科の募集人員から、各学科の「学力検査と面接による選抜」と「小論文と面接による選抜」の合格者数を除いたものとする。

オ 各学科の「学力検査と調査書による選抜」における合格者を、エで決定した合格予定者数を満たすよう決定する。

2 学力検査と調査書による選抜

(1) 出願

ア 出願は、1校1学科に限る。

ただし、募集人員を複数の学科ごとに設定している学校においては、他の1学科を第2志望とすることができる。

イ 出願期日及び出願時間は、次のとおりとする。

3月3日	木	午後3時～午後7時
3月4日	金	
3月7日	月	午後3時～午後5時

ウ 志願者は、下記の書類等を志願先高等学校長に提出する。（郵送は認めない。）

(ア) 入学志願書

(イ) 自己申告書 自己申告書は、原則として、志願者の自筆とする。

(ウ) 入学検定料 入学検定料 950円

堺市立の高等学校、東大阪市立の高等学校及び岸和田市立の高等学校への志願者については、出願時に当該高等学校において入学検定料 950円を現金で納入する。

(2) 学力検査

選抜のための学力検査を行う。

ア 学力検査は、3月10日（木）午前9時から行う。

イ 学力検査は、志願者全員について各高等学校長が、当該高等学校において行う。

ウ 学力検査の問題は、国語、数学、英語についてなお、英語の学力検査にはリスニングテストを含む。

また、国語、数学及び英語については、「基礎的問題」、「標準的問題」及び「発展的問題」の3種類の問題を作成する。ただし、リスニングテストは同一問題とする。

各高等学校長はあらかじめ使用する問題を選択し、府教育委員会において決定した「学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ」に示す種類の学力検査の問題で実施する。

エ 学力検査の実施時間割及び配点は、次のとおりとする。

・(ア)府立大手前高校、府立春日丘高校、府立寝屋川高校、府立三国丘高校

時限	第1時	第2時	第3時	
検査教科	国語	数学	英語	
時間	50分	50分	40分	リスニングテスト 15分
時刻	9:10 10:00	10:30 11:20	11:40 12:20	12:30 12:45
配点	90点		90点	

・(ア)以外の高校

時限	第1時	第2時	第3時	
検査教科	国語	数学	英語	
時間	50分	50分	40分	リスニングテスト 15分
時刻	9:10 10:00	10:20 11:10	11:30 12:10	12:20 12:35
配点	90点	90点	90点	

(3) 入学者の選抜

- ア 選抜の資料は、調査書、学力検査の成績及び自己申告書とする。
- イ 選抜に当たっては、学力検査の成績に、調査書中の必修の全教科の評定を加えた総合点を基本に、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録の記載内容をも資料として選抜を行う。
なお、総合点の算出に当たっては、次のように行う。
- (ア) 学力検査の各教科の成績を合計する。(270点満点)
- (イ) 調査書中の各教科の評定を6倍して合計する。(270点満点)
- (ウ) (ア)及び(イ)で算出した点数に、次の5つのタイプで示された倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を所管する教育委員会が決定した倍率(「学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ」をそれぞれかけて合計する。
- ウ 合格者の決定に当たっては、次のように行う。
- (ア) 総合点の高い者から、「1」の(3)エにより定めた合格予定者数の110%に当たる者までを(I)群とする。
- (イ) (I)群において、総合点の高い者から「1」の(3)エにより定めた合格予定者数の90%に当たる者までを合格とし、残りの者を(II)群(ボーダーゾーン)とする。
- (ウ) ボーダーゾーンの中から、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録を資料として、その高等学校のアドミッションポリシー(求める生徒像)に極めて合致する者を、優先的に合格とする。
- (エ) (ウ)による合格者が、「1」の(3)エにより定めた合格予定者数を満たさない場合は、総合点の高い者から順に「1」の(3)エにより定めた合格予定者数を満たすよう合格者を決定する。
- エ 複数の学科を設置している高等学校における各学科の合格者の決定は、次のように行う。
- (ア) すべての受験者を、第1志望の学科に関係なく総合点の高い者から順に並べる。
- (イ) 総合点の高い者から順に、第1志望の学科に振り分ける。
- (ウ) (イ)において各学科の「1」の(3)エにより定めた合格予定者数の110%に当たる人数に先に達した学科について、ウの手順により合格者を決定する。
- (エ) すでに合格となった者及び(ウ)において選抜を行った学科のみを志望している者を除いたすべての受験者を、総合点の高い者から順に並べる。
- (オ) (ウ)において合格者を決定しなかった学科について、ウの手順により「1」の(3)エにより定めた合格予定者数を満たすよう合格者を決定する。

3 学力検査と面接による選抜

(1) 出願

出願については「2」の(1)による。

(2) 学力検査等

選抜のための学力検査等として、学力検査及び面接を行う。

- ア 学力検査等は、3月10日(木)午前9時から行う。
- イ 学力検査等は、志願者全員について各高等学校長が、当該高等学校において行う。
- ウ 学力検査の問題は、「2」の(2)ウによる。

- エ 面接は、自己申告書に基づいて、個人面接で行う。
 オ 学力検査等の実施時間割及び配点は、次のとおりとする。

(ア) 府立大手前高校、府立春日丘高校、府立寝屋川高校、府立三国丘高校

時限	第1時	第2時	第3時		第4時
検査教科等	国語	数学	英語		面接
時間	50分	50分	40分	リスニングテスト 15分	_____
時刻	9:10 10:00	10:30 11:20	11:40 12:20	12:30 12:45	13:40から 各個人別に 実施
配点	90点	90点	90点		斜線

(イ) (ア)以外の高校

時限	第1時	第2時	第3時		第4時
検査教科等	国語	数学	英語		面接
時間	50分	50分	40分	リスニングテスト 15分	_____
時刻	9:10 10:00	10:20 11:10	11:30 12:10	12:20 12:35	13:30から 各個人別に 実施
配点	90点	90点	90点		斜線

(3) 入学者の選抜

ア 選抜の資料は、学力検査の成績、面接及び自己申告書の評価とする。

イ 合格者の決定に当たっては、学力検査の成績(270点満点)、面接及び自己申告書の評価を組み合わせて総合判定し、「1」の(3)イにより定めたの合格予定者数を満たすよう合格者を決定する。

ウ 複数の学科を設置している高等学校における各学科の合格者の決定は、次のように行う。

(ア) すべての受験者を、第1志望の学科に関係なく総合判定の結果の高い者から順に並べる。

(イ) 総合判定の結果の高い者から順に、第1志望の学科に振り分ける。

(ウ) (イ)において、「1」の(3)イにより定めた合格予定者数に当たる人数に先に達した学科について、総合判定の結果の高い者から順に「1」の(3)イにより定めた合格予定者数を満たすよう合格者を決定する。

(エ) すでに合格となった者及び(ウ)において選抜を行った学科のみを志望している者を除いたすべての受験者を、総合判定の結果の高い者から順に並べる。

(オ) (ウ)において合格者を決定しなかった学科について、総合判定の結果の高い順に「1」の(3)イにより定めた合格予定者数を満たすよう合格者を決定する。

4 小論文と面接による選抜

(1) 出願

出願については、「2」の(1)による。

(2) 学力検査等

学力検査は実施せず、小論文及び面接を実施する。

ア 小論文と面接は、3月10日(木)午前9時から行う。

イ 面接は、自己申告書に基づいて、個人面接で行う。

ウ 小論文及び面接の実施時間割は次のとおりとする。

時限	第1時	第2時
内容	小論文	面接
時間	50分	_____
時刻	9:10 10:00	10:20から 各個人別に 実施

(3) 入学者の選抜

- ア 選抜の資料は、小論文、面接及び自己申告書の評価とする。
- イ 合格者の決定に当たっては、小論文、面接及び自己申告書の評価を組み合わせて総合判定し、「1」の(3)イにより定めた合格予定者数を満たすよう合格者を決定する。
- ウ 複数の学科を設置している高等学校における各学科の合格者の決定は、次のように行う。
- (ア) すべての受験者を、第1志望の学科に関係なく総合判定の結果の高い者から順に並べる。
- (イ) 総合判定の結果の高い者から順に、第1志望の学科に振り分ける。
- (ウ) (イ)において、「1」の(3)イにより定めた合格予定者数に当たる人数に先に達した学科について、総合判定の結果の高い者から順に「1」の(3)イにより定めた合格予定者数を満たすよう合格者を決定する。
- (エ) すでに合格となった者及び(ウ)において選抜を行った学科のみを志望している者を除いたすべての受験者を、総合判定の結果の高い者から順に並べる。
- (オ) (ウ)において合格者を決定しなかった学科について、総合判定の結果の高い者から順に「1」の(3)イにより定めた合格予定者数を満たすよう合格者を決定する。

5 選抜実施計画等

- (1) 高等学校長は、志願者数が募集人員を超過すると否とにかかわらず、「1」の(3)、「2」の(3)、「3」の(3)、「4」の(3)及び次の要領により入学者の選抜を行う。
- (2) 高等学校長は、選抜のための補助機関として選抜委員会を組織し、厳正で円滑な選抜事務の遂行を図る。
- (3) 合格者の決定に当たって、「1」の(3)、「2」の(3)、「3」の(3)及び「4」の(3)に従うことが実際上はなはだしく困難な場合は、高等学校長は、所管の教育委員会の承認を受けてこれを変更することができる。
- (4) 高等学校長は、2月3日（水）までに選抜実施計画を所管の教育委員会に報告する。

6 合格者の発表

合格者の発表は、3月18日（金）午後2時に各高等学校において行う。

通信制の課程

1 選抜の種類等

- (1) 「面接と調査書による選抜」と「面接による選抜」の2種類の選抜方法を設ける。
- (2) 平成7年4月2日以降に生まれた者についての選抜方法は、「面接と調査書による選抜」とする。
また、平成7年4月1日までに生まれた者についての選抜方法は、「面接による選抜」とする。

2 面接と調査書による選抜

(1) 出願

- ア 出願は、1つの部に限る。
- ただし、昼間部と日・夜間部の2部間で他の1部を第2志望とすることができる。
- イ 出願期日及び出願時間は、次のとおりとする。

3月4日	金	午後2時～午後7時
3月6日	日	午後2時～午後5時
3月7日	月	午後2時～午後5時

ウ 志願者は、下記の書類等を志願先高等学校長に提出する。（原則として郵送は認めない。）

- (ア) 入学志願書
- (イ) 自己申告書
- 自己申告書は、原則として、志願者の自筆とする。

(ウ) 合格者の発表通知用封筒（当該高等学校に備えつけられている所定の封筒に、530円分の郵便切手を貼付したもの。）

(エ) 入学検定料

府立学校用の納付書（府立通信制用）により、その裏面に指定された金融機関窓口で入学検定料800円をあらかじめ納入り、領収印が押印された入学検定料納付証明書（入学志願書貼付用）を入学志願書の裏面の「1 大阪府立の高等学校に出願する場合」の貼付欄にはりつけて提出する。

(オ) (過年度卒業者のみ)

本人の住民票の写し又はこれに代わる証明書

(カ) (他府県在住で、勤務先が府内にある者のみ)

事業主の勤務証明書（勤務見込みの場合を含む。）

(キ) 「第1 全般的な事項」の「III 応募資格」の2(3)に該当する者は、入学志願特別事情申告書

(2) 学力検査等

学力検査は実施せず、面接を行う。

ア 面接は、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録に基づき、志願者全員について、当該高等学校において行う。

イ 面接の日時については、3月11日（金）、13日（日）、14日（月）の中から、志願者が出願時に選択する。

(3) 入学者の選抜

ア 選抜の資料は、調査書及び面接の評価とする。

イ 第2志望者がある部にあっては、まず第1志望者について選抜を行い、その合格者数が募集人員に満たないときは、第2志望者の中から合格者を補う。

3 面接による選抜

(1) 入学者の選抜

ア 選抜の資料は、面接の評価とする。

イ 第2志望者がある部にあっては、まず第1志望者について選抜を行い、その合格者数が募集人員に満たないときは、第2志望者の中から合格者を補う。

4 合格者の発表

合格者の発表は、3月18日（金）午後2時に当該高等学校において行うとともに、3月18日（金）以降本人に通知する。

17. 卒業生の進路状況

年 度			2012 年度			2013 年度			2014 年度				
区 分			男	女	計	男	女	計	男	女	計		
卒 業 者 数			63	41	104	67	52	119	56	53	109		
全 公 日 制 立	普通科	普 通 科	21	14	35	21	12	33	12	13	27		
		文 理 科	0	1	1	3	0	3	0	1	1		
		商業系学科	1	1	2	0	2	2	0	2	2		
		農業系学科	0	0	0	0	0	0	1	2	3		
		工業系学科	6	0	6	5	2	7	3	0	3		
		体 育 科	1	0	1	0	0	0	0	0	0		
		美術系学科	0	2	2	0	4	4	0	0	0		
		総 合 学 科	1	3	4	7	4	11	3	7	10		
		そ の 他	4	2	6	0	4	4	1	4	5		
	計		34	23	57	36	28	65	20	29	49		
	国 立		1	0	1	2	3	5	0	0	0		
	私 立		26	16	51	30	16	46	31	21	52		
定 時 制・通 信 制			0	1	1	2	1	3	0	2	2		
就 職	職業安定所を通じた者		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	家 業・自 己 就 職		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
高等職業技術専門学校			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
各種学校・専修学校			3	0	4	1	0	1	1	0	1		
その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0		

2014 年度 (68 期生) 卒業生の進路内訳

私立高等学校

興國	アドバンス
	進学スタンダード
	ITビジネス
大阪女学院	文系
国際滝井	国際
信愛女学院	文理
城南学園	特進
宣真	看護系進学
あべの翔学	普通進学
上宮	パワー
	プレップ
偕星学園	スポーツ
大阪学芸	特進
	特進理数
	選抜特進
	進学
大阪暁光	文理特進
大阪桐蔭	Ⅲ類
関大北陽	文理
近大附属	英語特化
金光大阪	特進Ⅱ
	進学
産大附属	特進Ⅱ
昇陽	保育福祉
	パティシエ
常翔学園	文理進学
四天王寺	スポーツ・芸術
清教学園	S特進コース文系
太成学院大学	スポーツ進学
浪速	I 類
	II 類
初芝立命館	グローバルS
	グローバルA
阪南大学	総合進学
桃山学院	英数
履正社	集約文理 I 類
京都外大西	特進エクシード
神戸龍谷	文理S
菊川南陵	スポーツ
YMCA学院	普通
英風女子	看護
中央学園	普通

国公立高等学校

阿倍野	普通
阿武野	普通
阪南	普通
東住吉	普通
港	普通
泉陽	普通
東住吉	普通
府教育C附属	普通科単位制
市立中央	普通
北野	文理
市立西	英語
市立都島工業	機械・機械電気
市立工芸	建築デザイン
市立泉尾工業	工業化学
市立住吉商	商業
大阪ビジネスフロンティア	グローバルビジネス
泉北	国際文化
農芸	資源動物
農芸	食品加工
住吉	総合科学
今宮	総合学
柴島	総合学
西成	エンパワメント
桃谷(通)	普通
市立東住吉支援	肢体不自由部

学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

平成28年度大阪府公立高等学校入学者選抜において、各高等学校長が選択し、所管の教育委員会が決定した「学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ」は、以下の表のとおりである。

ただし、海外から帰国した生徒の入学者選抜及び中国等帰国生徒及び外国人生徒入学者選抜の「学力検査問題の種類」については、選抜の趣旨や実施校の状況を鑑み、所管の教育委員会が決定した。

(注)学校名において、「市立」と表記している学校は、大阪市立の高等学校である。

1 特別入学者選抜

(1) 全日制の課程 専門学科

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率の タイプ	
		普通科	専門学科		国語	数学	英語		
1	市立工芸	—	建築デザイン科	インテリアデザイン科	プロダクトデザイン科	B	B	B	II
			映像デザイン科	ビジュアルデザイン科	美術科				
2	岸和田市立産業	—	デザインシステム科			B	B	B	III
3	摂津	—	体育科			B	B	B	III
4	大塚	—	体育科			B	B	B	III
5	市立桜宮	—	人間スポーツ科学科			B	B	B	II
6	市立汎愛	—	体育科	武道科(スポーツ)		B	B	B	I
7	東住吉	—	芸能文化科			B	B	B	I
8	市立咲くやこの花	—	演劇科			B	B	B	II
9	夕陽丘	—	音楽科			B	B	B	III
10	港南造形	—	総合造形科			B	B	B	III

(2) 全日制の課程 デュアル総合学科及び総合学科(エンパワメントスクール)

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率の タイプ	
		普通科	専門学科等		国語	数学	英語		
11	布施北	—	デュアル総合学科			A	A	A	III
12	成城	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	III
13	西成	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	III
14	長吉	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	III
15	箕面東	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	III
16	岬	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	III

(3) 多部制単位制I部及びII部並びに昼夜間単位制

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率の タイプ	
		普通科	専門学科		国語	数学	英語		
17	桃谷	普通科 (クリエイティブスクール)				A	A	A	III
18	市立中央	普通科	ビジネス科			A	A	A	II

2 海外から帰国した生徒の入学者選抜

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率の タイプ
		普通科	専門学科		国語	数学	英語	
1	市立東	—	英語科				B	B
2	大阪市立	—	英語科				B	B
3	市立西	—	英語科				B	B
4	市立南	—	英語科				B	B
5	東大阪市立日新	—	英語科				B	B
6	旭	—	国際教養科				B	B
7	枚方	—	国際教養科				B	B
8	花園	—	国際教養科				B	B
9	長野	—	国際教養科				B	B
10	佐野	—	国際教養科				B	B
11	住吉	—	国際文化科	総合科学科			B	B
12	千里	—	国際文化科	総合科学科			B	B
13	泉北	—	国際文化科	総合科学科			B	B
14	箕面	—	グローバル科				B	B
15	和泉	—	グローバル科				B	B

3 中国等帰国生徒及び外国人生徒入学者選抜

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率の タイプ
		普通科	専門学科等		国語	数学	英語	
1	門真なみはや	普通科総合選択制					B	B
2	布施北	普通科	デュアル総合学科				B	B
3	成美	普通科総合選択制					B	B
4	福井	—	総合学科				B	B
5	八尾北	—	総合学科				B	B
6	長吉	—	総合学科 (エンパワメントスクール)				B	B

(注1) 特別入学者選抜等における問題の種類及び特徴

種類	特徴		
	国語	数学	英語
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出題する。	基礎的な計算問題を出題するとともに、「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出題する。	基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出題する。
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出題する。	「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出題する。	基礎的な語彙・文法についての理解を問うたうえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出題する。

(注2) 特別入学者選抜等における学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率は、次の表のとおり5つのタイプである。
なお、実技検査を実施する選抜においては、総合点は、学力検査の成績と調査書の評定にそれぞれ定められた倍率をかけて求めた点数に、実技検査の成績を加えたものとする。

倍率の タイプ	学力検査の成績に かける倍率	調査書の評定に かける倍率	参考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
I	1.4倍	0.6倍	315点	135点	450点
II	1.2倍	0.8倍	270点	180点	
III	1.0倍	1.0倍	225点	225点	
IV	0.8倍	1.2倍	180点	270点	
V	0.6倍	1.4倍	135点	315点	

4 一般入学者選抜

(1) 全日制の課程 普通科（総合選択制及び単位制高等学校を含む。）を設置している高等学校

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率の タイプ
		普通科	専門学科		国語	数学	英語	
1	東淀川	普通科総合選択制			B	B	B	II
2	北淀	普通科			A	A	A	III
3	大手前	普通科	文理学科		C	C	C	I
4	旭	普通科	国際教養科		C	B	B	II
5	西淀川	普通科			A	A	A	III
6	茨田	普通科			A	A	A	III
7	清水谷	普通科			C	B	C	II
8	高津	普通科	文理学科		C	C	C	I
9	夕陽丘	普通科			C	C	C	II
10	港	普通科			B	B	B	I
11	泉尾	普通科			A	A	A	III
12	大正	普通科総合選択制			A	A	A	III
13	勝山	普通科			A	A	A	III
14	阿倍野	普通科			B	B	B	I
15	東住吉	普通科			B	B	B	I
16	平野	普通科			A	A	A	II
17	阪南	普通科			B	B	B	II
18	池田	普通科			C	C	C	I
19	渋谷	普通科			B	B	B	II
20	豊中	普通科	文理学科		C	C	C	I
21	桜塚	普通科			B	B	C	I
22	豊島	普通科			B	B	B	II
23	刀根山	普通科			B	B	B	I
24	箕面	普通科	グローバル科		B	B	B	I
25	春日丘	普通科			C	C	C	I
26	茨木	普通科	文理学科		C	C	C	I
27	茨木西	普通科			B	B	B	I
28	北摂つばさ	普通科総合選択制			B	B	B	III
29	吹田	普通科			B	B	B	II
30	吹田東	普通科			B	B	B	II
31	北千里	普通科			B	B	B	II
32	山田	普通科			B	B	B	I
33	三島	普通科			C	C	C	I
34	高槻北	普通科			B	B	B	II
35	芥川	普通科			B	B	B	II
36	阿武野	普通科			B	B	B	III
37	大冠	普通科			B	B	B	II
38	摂津	普通科			B	B	B	II
39	島本	普通科			B	A	A	II
40	四條畷	普通科	文理学科		C	C	C	I
41	寝屋川	普通科			C	C	C	I
42	西寝屋川	普通科			B	B	B	IV
43	北かわち皋が丘	普通科			B	B	B	III
44	枚方	普通科	国際教養科		B	B	B	I
45	長尾	普通科			B	B	B	II

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率の タイプ
		普通科	専門学科		国語	数学	英語	
46	牧野	普通科			C	B	C	I
47	香里丘	普通科			B	B	B	I
48	枚方津田	普通科			B	B	B	III
49	枚方なぎさ	普通科総合選択制			B	B	B	II
50	守口東	普通科			B	B	B	III
51	門真西	普通科			B	B	B	IV
52	門真みなみ	普通科総合選択制			B	B	B	III
53	野崎	普通科			B	A	A	III
54	緑風冠	普通科総合選択制			B	B	B	II
55	交野	普通科			B	B	B	II
56	布施	普通科			B	B	B	I
57	花園	普通科	国際教養科		B	B	B	II
58	布施北	普通科			A	A	A	III
59	かわち野	普通科総合選択制			A	A	A	IV
60	みどり清朋	普通科			B	B	B	II
61	山本	普通科			B	B	B	II
62	八尾	普通科			C	C	C	I
63	八尾翠翔	普通科			B	B	B	II
64	生野	普通科	文理学科		C	C	C	I
65	大塚	普通科			B	B	B	III
66	柏原東	普通科			A	A	A	II
67	河南	普通科			B	B	B	II
68	富田林	普通科			C	C	C	I
69	金剛	普通科総合選択制			B	B	B	III
70	懐風館	普通科			B	A	A	IV
71	長野	普通科	国際教養科		B	B	B	II
72	長野北	普通科			A	A	A	II
73	藤井寺	普通科			B	B	B	II
74	狭山	普通科			B	B	B	I
75	登美丘	普通科			B	B	B	I
76	泉陽	普通科			C	C	C	I
77	三国丘	普通科	文理学科		C	C	C	I
78	金岡	普通科			B	B	B	II
79	東百舌鳥	普通科			B	B	B	III
80	堺西	普通科			B	B	B	II
81	福泉	普通科			A	A	A	IV
82	堺上	普通科			B	A	A	III
83	成美	普通科総合選択制			B	A	B	III
84	美原	普通科			A	A	A	IV
85	泉大津	普通科			B	B	B	II
86	伯太	普通科総合選択制			A	A	A	IV
87	信太	普通科			A	A	A	IV
88	高石	普通科			B	B	B	I
89	和泉	普通科	グローバル科		C	C	C	I
90	岸和田	普通科	文理学科		C	C	C	I
91	久米田	普通科			B	B	B	I
92	佐野	普通科	国際教養科		C	B	C	I
93	日根野	普通科			B	B	B	I
94	貝塚南	普通科			B	B	B	I

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率の タイプ
		普通科	専門学科		国語	数学	英語	
95	りんくう翔南	普通科総合選択制			B	B	B	III
96	泉島取	普通科			B	A	A	IV
97	市立東	普通科	英語科	理数科	B	C	C	II
98	市立桜宮	普通科			B	B	B	III
99	市立汎愛	普通科			B	B	B	I
100	大阪市立	普通科	英語科	理数科	B	B	B	I
101	東大阪市立日新	普通科総合選択制	英語科	商業科	B	B	B	III
102	市岡	普通科 (単位制高等学校)			C	C	C	I
103	大阪府教育センター附属	普通科 (単位制高等学校)			B	B	B	III
104	槻の木	普通科 (単位制高等学校)			B	B	B	II
105	鳳	普通科 (単位制高等学校)			C	B	C	II

(2) 全日制の課程 専門学科のみを設置している高等学校

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率の タイプ
		普通科	専門学科		国語	数学	英語	
106	市立淀商業	—	商業科	福祉ボランティア科	B	A	B	III
107	市立住吉商業	—	商業科		B	A	B	III
108	市立鶴見商業	—	商業科		B	A	B	IV
109	岸和田市立産業	—	商業科	情報科	B	B	B	III
110	市立西	—	流通経済科	情報科学科	英語科	B	B	III
111	堺市立堺	—	サイエンス創造科 マネジメント創造科	機械材料創造科	建築インテリア創造科	B	B	B
112	市立大阪ビジネスフロンティア	—	グローバルビジネス科			B	B	C
113	園芸	—	フラワーファクトリ科	環境緑化科	バイオサイエンス科	A	A	A
114	農芸	—	ハイテク農芸科	食品加工科	資源動物科	B	B	B
115	淀川工科	—	工業に関する学科 (総合募集の専科)	工業に関する学科 (工学系大学進学専科)		B	B	B
116	西野田工科	—	工業に関する学科			A	A	A
117	今宮工科	—	工業に関する学科 (総合募集の専科)	工業に関する学科 (工学系大学進学専科)		B	A	B
118	茨木工科	—	工業に関する学科 (総合募集の専科)	工業に関する学科 (工学系大学進学専科)		A	A	A
119	城東工科	—	工業に関する学科			A	A	A
120	布施工科	—	工業に関する学科			A	A	A
121	藤井寺工科	—	工業に関する学科			A	A	A
122	堺工科	—	工業に関する学科			A	A	A
123	佐野工科	—	工業に関する学科			B	B	B
124	市立都島工業	—	機械・機械電気科 理数工学科	建築・都市工学科	電気電子工学科	B	B	B
125	市立生野工業	—	機械科	電気科	電子機械科	B	A	A
126	市立泉尾工業	—	機械科 セラミック科	電気科 ファッショ工学科	工業化学科	A	A	A
127	市立東淀工業	—	機械工学科	電気工学科	理工学科	B	B	B
128	市立南	—	英語科	国語科		C	B	C
129	住吉	—	国際文化科	総合科学科		C	C	C
130	千里	—	国際文化科	総合科学科		C	C	C
131	泉北	—	国際文化科	総合科学科		B	B	B
132	北野	—	文理学科			C	C	C
133	天王寺	—	文理学科			C	C	C

(3) 全日制の課程 総合学科（デュアル総合学科、エンパワメントスクール及びクリエイティブスクールを除く。）を設置している高等学校

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率の タイプ	
		普通科	専門学科等		国語	数学	英語		
134	柴島	—	総合学科			B	B	B	III
135	今宮	—	総合学科			C	C	C	I
136	能勢	—	総合学科			B	B	B	III
137	千里青雲	—	総合学科			B	B	B	II
138	福井	—	総合学科			B	B	B	II
139	芦間	—	総合学科			B	B	B	II
140	枚岡樟風	—	総合学科			B	B	B	IV
141	八尾北	—	総合学科			B	B	B	IV
142	松原	—	総合学科			B	B	B	IV
143	堺東	—	総合学科			B	B	B	I
144	貝塚	—	総合学科			B	B	B	II
145	市立扇町総合	—	総合学科			B	B	B	III
146	市立咲くやこの花	—	総合学科	食物文化科		B	B	B	II

(4) 全日制の課程 総合学科（クリエイティブスクール）

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率の タイプ	
		普通科	専門学科等		国語	数学	英語		
147	東住吉総合	—	総合学科 (クリエイティブスクール)			B	B	B	II
148	和泉総合	—	総合学科 (クリエイティブスクール)			A	A	A	IV

(5) 多部制単位制III部（クリエイティブスクール）及び定時制の課程（クリエイティブスクールを含む。）

*多部制単位制III部

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率の タイプ
		普通科	専門学科等		国語	数学	英語	
149	大手前	普通科			A	A	A	III
150	桜塚	普通科			A	A	A	III
151	春日丘	普通科			A	A	A	III
152	寝屋川	普通科			A	A	A	III
153	布施	普通科			A	A	A	III
154	三国丘	普通科			A	A	A	III
155	市立都島第二工業	普通科	工業に関する学科		A	A	A	III
156	東大阪市立日新	普通科			A	A	A	III
157	岸和田市立産業	—	商業科		A	A	A	III
158	堺市立堺	—	マネジメント創造科	工業に関する学科	A	A	A	III
159	市立第二工芸	—	工業に関する学科		A	A	A	III
160	西野田工科	—	総合学科		A	A	A	III
161	今宮工科	—	総合学科		A	A	A	III
162	茨木工科	—	総合学科		A	A	A	III
163	藤井寺工科	—	総合学科		A	A	A	III
164	堺工科	—	総合学科		A	A	A	III
165	佐野工科	—	総合学科		A	A	A	III
166	成城	—	総合学科		A	A	A	III
167	和泉総合	—	総合学科 (クリエイティブスクール)		A	A	A	III
168	桃谷	普通科* (クリエイティブスクール)	—		A	A	A	III

(注3) 一般入学者選抜における問題の種類及び特徴

種類	特徴		
	国語	数学	英語
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出題する。	基礎的な計算問題を出題するとともに、「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出題する。	基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出題する。
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出題する。	「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出題する。	基礎的な語彙・文法についての理解を問うたうえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出題する。
C (発展的問題)	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出題する。	「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出題する。	標準的・発展的な内容の英文について話題や論理の流れに沿って読み取る力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出題する。

(注4) 一般入学者選抜における学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率は、次の表のとおり5つのタイプである。

倍率のタイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率	参考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
I	1.4倍	0.6倍	630点	270点	900点
II	1.2倍	0.8倍	540点	360点	
III	1.0倍	1.0倍	450点	450点	
IV	0.8倍	1.2倍	360点	540点	
V	0.6倍	1.4倍	270点	630点	

私立高等学校等の授業料無償化制度について (平成28年4月以降に入学される生徒用)



1 授業料無償化制度の趣旨

大阪府広報担当副知事
もずやん

大阪府では、大阪の子どもたちが、中学校卒業時の進路選択段階で、国公立高校と同様に、私立の高校や高等専修学校についても、自らの希望や能力に応じて自由に学校選択できる機会を保障するため、【国】高等学校等就学支援金（以下「就学支援金」）と併せて【大阪府】私立高等学校等授業料支援補助金（以下「授業料支援補助金」）を交付することにより、私立高校等の授業料が無償となるよう支援しています。

2 授業料無償化制度の概要

平成28年度の新入生から、世帯区分と授業料負担の額の見直しを行っています。

- ▷ 年収**590万円未満**世帯 ⇒ 授業料負担が実質無償
 - ▷ 年収**590万円以上800万円未満**世帯 ⇒ 授業料負担が**20万円**
 - ▷ ただし、府内の私立高校に3人以上通わせている世帯については、次の負担額となるよう支援します。
 - ・年収**590万円以上800万円未満**世帯 ⇒ 授業料負担が**10万円**
 - ・年収**800万円以上910万円未満**世帯 ⇒ 授業料負担が**20万円**
- 〔 授業料負担の額は、授業料が**58万円**以下の学校の場合であり、**58万円**を超える学校の場合は、その額に**20万円**を加えた額となります。〔**65万円**の授業料の学校の場合 ⇒ 授業料負担は**27万円**〕〕

※府内の私立高校に3人以上通わせている世帯のほか、府内の私立高校生が1名以上いる世帯であれば、他府県も含め私立高校等や大学等に兄弟姉妹を2人以上通わせている世帯についても支援対象となります。なお、大学等の進学をめざすいわゆる浪人生についても、高校等卒業後1年間に限り、特例的に人数に含めます。

※年収は、保護者のうちどちらか一方が働き、高校生**1人(16歳以上)**、中学生**1人**の**4人世帯**の場合のみやすを示すもので、実際は、裏面に記載しているとおり、市町村民税所得割額により判定します。



3 私立高校等に3人以上通わせている世帯の確認方法

- ①保護者に扶養されている子どもであること。

＜確認書類＞ 健康保険証の写し（国民健康保険加入者は、世帯全員の住民票（続柄表記のもの））

- ②私立高校等または大学等において教育を受けている生徒・学生であること（対象となる学校の範囲は、次頁4参照）
＜確認書類＞ 在学（在校）証明書

※大学等の進学をめざすいわゆる浪人生については、高校等卒業後1年間に限り、予備校等の在校証明書や当該子に対する教育費負担にかかる親権者からの申し出に基づき、特例的に大学等の学生とみなします。

4 私立高校等または大学等の学校の範囲

＜高校段階＞ 私立高校をはじめ、国の就学支援金の加算支給の対象となる以下の学校

※ ただし、留学生及び専攻科や別科の生徒、科目履修生、聴講生は除く

▷ 私立高等学校、中等教育学校（後期課程）及び特別支援学校（高等部）

▷ 公私立専修学校（高等課程）

▷ 国公私立高等専門学校（第1学年から第3学年までに限る。）

▷ 「保健師助産師看護師法」に定める学校又は準看護師養成所（※）

▷ 「調理師法」にもとづく調理師養成施設（※）

▷ 「製菓衛生師法」に基づく製菓衛生師養成施設（※）

▷ 各種学校のうち一定の要件を満たす外国人学校（文部科学省告示で指定）

（※）専修学校一般課程又は各種学校の認可を受けている学校に限る。

＜大学段階＞ 学校教育法で定める大学、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）

※ ただし、国公私立高校等卒業後、1年以内のいわゆる浪人生についても、特例的に大学等の学生とみなす

5 補助の要件

- ① 生徒及び保護者（親権者全員）が大阪府内に住所を有していること
- ② 「私立高校生等就学支援推進校」として指定された大阪府内の私立高校等に**10月1日**に在学していること
- ③ 就学支援金を受給していること
- ④ 保護者の市町村民税所得割額（親権者合算）が基準の範囲内であること（下表）

6 就学支援金・授業料支援補助金の所得区分と年間支給額

○ 全日制高校、専修学校(高等課程)

〔2段書きの上段（ ）は、私立高校生が3人以上いる世帯等の場合〕

※1 所得区分（年収めやす）	保護者の 市町村民税所得割額 (親権者合算)	就学支援金 (国) ①	授業料支援 補助金(府) ②	支援額の計 ①+②	保護者負担 (授業料が 58万円の 学校の場合)
Aランク(250万円未満)	0円（非課税）	297,000円	283,000円		
Bランク(350万円未満)	51,300円未満	237,600円	342,400円	580,000円	実質無償
Cランク(590万円未満)	154,500円未満	178,200円	401,800円		
Dランク(800万円未満)	251,100円未満		(361,200円) 261,200円	(480,000円) 380,000円	(100,000円) 200,000円
Eランク(910万円未満)	304,200円未満		(261,200円) 0円	(380,000円) 118,800円	(200,000円) 461,200円
対象外(910万円以上)	304,200円以上	0円	0円	0円	580,000円

※1 年収めやすは、保護者のうちどちらか一方が働き、高校生1人（16歳以上）、中学生1人の4人世帯の場合のものです。

※2 生活保護（生活扶助）世帯は、Aランクに含まれます。

➢ A～Cランクの支援額は、授業料が**58万円未満**の学校の場合は、授業料の額が上限となります。

➢ Dランクの場合の支援額は、学校の授業料の額にかかわらず、保護者負担が**10万円**または**20万円**となるように交付されます。

➢ Eランク（私立高校生等が3人以上いる世帯のみ対象）の場合、府の補助金の額は、**261,200円**が上限となります。

7 申請時期

毎年7月以降に在学する私立高校等を通じてお知らせしますので、各学校が定める日までに、手続きしてください。（在学する私立高校等へ提出）

8 必要となる書類

- ① 授業料支援申請書（各学校から大阪府内に住所を有している全生徒に配られます。）
- ② 保護者全員の市町村民税所得割額が確認できる書類（課税証明書等）
 - ▷ 課税証明書、非課税証明書（市町村の住民税の窓口で発行）
 - ▷ 市民税・府民税の「特別徴収税額の決定・変更通知書」の写し
 - ▷ 住民税納税通知書の写し（自営業の場合に市町村から送付）
- ③ 在学（在校）証明書と健康保険証の写し
※国民健康保険加入者は、国民健康保険証に代えて、世帯全員の住民票（続柄表記のもの）を提出してください。いわゆる浪人生は、予備校等の在校証明書または当該子どもに対する教育費負担にかかる申出書を提出してください。

9 交付の時期等

各学校は、生徒の**10月1日**在学を確認後、府からの補助金交付（**11月頃**）を受け、授業料の還付や相殺（差引き）を行います。制度の対象となる場合であっても、補助金交付前に納期が到来する授業料等については、学校に一旦納付していただく必要があります。（詳細は、学校の事務室にお問合せください。）

10 留意事項

- ▷ 生徒が**9月30日**までに私立高校等を転退学した場合、その年度における授業料の支援を受けることはできません。
- ▷ 各学校が定める期限までに申請手続きをしなかった場合、授業料の支援を受けることはできませんのでご注意ください。
- ▷ 所得区分の判定は、保護者の市町村民税所得割額（親権者合算）に基づき、毎年度行います。
- ▷ 市町村民税所得割額の更正や、大阪府外への転居、離婚等による保護者の変更などによって、支援額が変更となる場合があります。
- ▷ 税の申告をしておらず、課税証明書等が発行されない場合には、税を申告のうえ、課税証明書等の発行を求めてください。
- ▷ 保護者の全員またはどちらか一方が、海外に在住しており、課税証明書等が発行されない場合、授業料の支援を受けることはできません。
- ▷ 大阪府内在住であった保護者が、勤務先の命令により、他府県に単身で赴任せざるを得なくなった場合、辞令等の写しを提出することで、大阪府内在住とみなすことができます。
- ▷ 入学金、教科書代、修学旅行費など、授業料以外の納付金は、支援の対象となりません。
- ▷ この制度は、平成**28**年度から平成**30**年度までの入学生が卒業するまでの3年間適用されます。



授業料無償化制度（保護者負担額）



＜授業料が58万円の学校の場合＞

〔保護者
負担額〕

58万円

■ 学生・生徒が三人以上の世帯の場合

20万円

10万円

授業料無償化



支援制度
を創設

580,000円
負担

100,000円
負担

590

800

910

年収(万円)

〔保護者
負担額〕

58万円

※1 授業料が65万円の学校の場合、保護者負担額は27万円となります。

■ 学生・生徒が二人以下の世帯の場合

46万円

20万円

授業料無償化



580,000円
負担

461,200円
負担
(※2)

200,000円
負担

590

800

910

年収(万円)

※2 授業料が65万円の学校の場合、保護者負担額は53万1200円となります。

【お問い合わせ先】

大阪府 府民お問合せセンター ピピっとライン

電話：06-6910-8001 FAX：06-6910-8005

【大阪府ホームページ】

「私立高校生等に対する授業料支援について」

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shigaku/shigakumushouka/>